2011年度

JUAS 教育研修事業ご案内

■JUASセミナー

常に最新テーマのセミナーを企画しております。最新情報は以下をご覧ください。

http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/

■JUASオーダーメイド研修

セミナーのカスタマイズなど、貴社向けにオリジナル研修を開発いたします！

http://www.juas.or.jp/seminar-event/order-made/index.html

■JUAS出版

会員活動の成果やセミナーのノウハウを出版物として発行

http://www.juas.or.jp/product/

<お問い合わせ先>

社団法人日本情報システム・ユーザー協会　教育研修事業担当
オープンセミナー：森　平山　石川　近田　　オーダーメイド研修：角田　五十井　出版：平山
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町１－１０－１１　井門堀留ビル４階
ＴＥＬ：０３－３２４９－４１０２　ＦＡＸ：０３－５６４５－８４９３ E-mail：seminar@juas.or.jp

2011.7.13.現在

NEWS！

JUASセミナーで
ITC知識ポイント取得！

2010年9月1日以降に開催の
全てのJUASセミナーがITCAに認定され、
知識ポイント付与の対象となりました！

さらに、ITCA認定ITCの方は、
JUAS会員と同額でセミナー受講が可能に！

この機会に、各種JUASセミナーの
受講をぜひご検討下さい！！

セミナー受講中の方でITCの資格を有し
知識ポイント申請をご希望される方は
休憩時間にお近くのスタッフにお申出下さい。

社団法人　日本情報システム・ユーザー協会
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1-10-11 井門堀留ビル 4階
TEL：03-3249-4101／FAX：03-5645-8493／E-mail：juas@juas.or.jp

JUAS セミナー
早割キャンペーンのご案内

JUASでは、2010年度、大変好評を頂きました
“早割キャンペーン”を2011年度も実施いたします。
2011年3月31日締切りですのでお早めにお申し込みください。

		税込
1日研修	会員	31,500
	一般	39,900
2日研修	会員	63,000
	一般	79,800
勉強会	会員	78,750
	一般	99,750

【早割（2011年3月31日までに2011年度実施セミナーをお申込みいただいた場合）】

		税込
1日研修	会員	28,350
	一般	35,910
2日研修	会員	56,700
	一般	71,820
勉強会	会員	70,875
	一般	89,775

2011年度早割りサービスは2011年3月末日をもって終了いたしました。

年間予定セミナー

経営戦略

※セミナーの日程は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。

ITサービス向上のためのシステム運用業務改善ワークショップ ～インシデント管理・問題管理編～

□標準プロセス・ルールの応用力、状況（So-What）分析スキル、真因（Why）分析スキルを磨きます。
□現行業務の改善点（QCD）とその対策を具体的にイメージできるようになることを目指します。

ファシリテーター：寺池　光弘氏　**（株式会社シーエーシー　医薬システムユニット　シニアコンサルタント）**

情報システムの複雑化によって、システム障害のもたらす影響は広く大きくなるとともに、障害原因の特定も難しくなっています。障害発生時には、サービスの中断時間を最小限に抑えて速やかに回復し、サービスの品質を維持することが重要ですが、運用の現場では、①適切な報告ができていない　②トラブル発生時に、影響範囲を適切に特定できない　③抜本的な解決策を導き出せていない、というような悩みを抱えている場合も多いのが現状です。

本セミナーでは、インシデント管理および問題管理に焦点をあて、「障害発生前の予防／抜本対策」「障害発生後の緊急対策・復旧対策」の観点から、現行業務の改善点（QCD）とその対策を具体的にイメージできるようになることを目指します。

事前課題を設定し、講義だけでなく、受講者参加型のグループディスカッション・振り返りを数多く取り入れ、受講者が主体的かつ実践的に取り組めるプログラムです。

■**対象**：日々運用業務に励む、実務経験5～10年目の業務システム担当者

■開催日時：

第4回	**2011年 7月13日（水）　10：00-18:00**
第5回	**2011年10月12日（水）　10：00-18：00**

■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員／ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　25名

■会場　JUAS会議室　（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

（1）はじめに（Why）：受講目的（必要性）の再確認
（2）あるべきインシデント管理手順を考える
- **・インシデント管理とは？**
- **・インシデント管理手順のケーススタディ①②**
- **・「判別」フェーズのケーススタディ**

（3）あるべき問題管理手順を考える
- **・問題管理とは？**
- **・問題管理手順のケーススタディ**
- **・「真因分析」フェーズのケーススタディ**

（4）振り返り
- **・現場で意識的に実践するための行動変革計画**

ITサービス向上のためのシステム運用業務改善シリーズ
～科学的管理手法による 攻めの運用サービス実現

□改善活動の基本であるQCストーリーとQC7つ道具、新7つ道具を理解する
□それらについて現場への適用イメージを持てる
□改善活動に着手するためのアクションプランを作成できる

ファシリテーター：寺池　光弘氏　（株式会社シーエーシー　医薬システムユニット　シニアコンサルタント）

システム運用の現場でヒヤリ・ハットが増加していませんか？
システム運用サービスの品質を維持・向上させるための基本は、改善活動です。改善活動が浸透していない現場（*1）では、人手による「力技」でトラブルをなんとか食い止めているところも、少なくありません。本ワークショップでは、日本企業のお家芸である小集団活動に焦点をあて、「やらされ感」ではなく「自らのために自発的に」活動できるようボトムアップでの現場活性化を目指します。
そのための身近で具体的なツールとして、「QCストーリー」「QC7つ道具・新7つ道具」を活用し、科学的管理手法により業務改善力を高めます。

*1 システム運用の現場に小集団活動が浸透しない原因（仮説）若年層を中心に。。。
・小集団活動の必要性を真に理解している人が減っている　・進め方（QCストーリー）を真に理解している人が減っている
・主要ツール（QC7つ道具、新7つ道具）を真に理解している人が減っている

■対象：日々運用業務に励む、実務経験5～10年目の業務システム担当者

■開催日時：

第1回	2011年4月25日（月）・5月16日（月） 10：00-18：00

■主な講義内容

1日目
（1）運用サービスとは？
（2）継続的なサービス改善
・ビジネス要求の確認
・サービス目標設定
・測定すべき指標（KPI）の定義
・測定可能な指標の定義
・データの収集
・データの処理・分析
・分析結果に基づいた改善策の検討
・改善策の実施
（3）上記の演習
（4）QCストーリー（前半）
・テーマ選定
・現状把握
・目標設定
（5）上記の演習
（6）職場実践課題の解説

2日目
（1）職場実践課題の発表＆フィードバック
（2）QCストーリー（後半）
・要因の解析
・課題の明確化
・対策の立案
・最適策の追求
・方策の立案
・効果の確認
・歯止め
・反省と今後の計画
（3）上記の演習
（4）事例紹介（※各回によって内容が変わります）
・サービスデスク
・アプリケーション運用
・システム基盤運用
（5）まとめ＆振り返り

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：63,000円　一般：79,800円

■定員　20名

■会場　JUAS会議室　（東京・日本橋堀留町）

目標把握と行動計画立案のための俯瞰力トレーニングのイロハ
事例と演習で学ぶバランス・スコアカード活用研究～

□ 目標を俯瞰し、「顧客の顧客」を意識したサービスの付加価値を提案できる力を養うための方法として、「バランス・スコアカード（BSC）」を事例をふまえて体系的に理解し、PDCAを回していくためのスキル体得を目指します。
□ 講師が実施した豊富な事例を基に、的確なアドバイスを伝授
□ 「グループ演習」による、他社・他の参加者との意見交換・情報交流

講師：西嶋　陽一氏　（株式会社TRUソリューションズ　代表取締役）

組織活性化と組織力向上のための手法として「BSC」を解説・活用し、「目標は何か 」「目標をどのように達成するのか 」「責任者と担当者はだれか」「具体的対応策は何か」「対応策による効果は何か」を明確にして実践し、PDCAを回していくためのスキル体得を目指します。講師の豊富な事例を元に、演習をかえて学んでいただくセミナーです。

■対象： 役員、経営企画、経営品質、人事、経理、情報部門など企業経営に関わるマネジャーおよびスタッフ
中小企業診断士、ITコーディネータなどのコンサルタント、および資格取得を目指す方

※本セミナーは、参加者の声を反映し、従来の「事例に学ぶBSC活用講座」の名称を改訂したものです

■開催日時：

第20回	2011年6月15日(水) 10：00-18：00

■主な講義内容

1. 戦略を実現するバランス・スコアカードとは
バランス・スコアカードのルーツと変遷、機能と意味の読み方、4つの視点の因果関係、重要成功要因・成果指標・パフォーマンス・インジケータの理解、縦と横の因果関係の意味、展開の方法

2. ＜演習＞ケースによるビジョン・戦略の抽出
ビジョンの重要性、組織の戦略、ビジョンの抽出、戦略の明確化、バランス・スコアカードへの落とし込み、等の理解

3. ＜演習＞重要成功要因の摘出と戦略マップの作成
重要成功要因の意味、戦略実現を基準にした抽出の考え方、戦略マップの役割と作成方法、4つの視点への分類

4. ＜演習＞成果指標の摘出
成果指標の理解、数値的測定方法をいかに策定していくか

5. 効果的な導入のための目的別成功要因
経営システムとの併用や統合における効果的な導入への考え方、中小企業・間接部門、等での成功するバランス・スコアカードの導入事例、目的別導入事例から学ぶ成功要因と改善の機会、将来の方向に関する考察、今後の取り組みへの提言

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円
※別途「個別レビュー」をご希望の方はお問い合わせください。

■定員　20名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

私が変わる！組織が変わる！

事業目標達成を支援、「マネジメントスタイル」革新研修

<発見！ミッションクリティカル>

- 実組織での上司・部下からヒアリングした参加者ご自身の評価をもとに、現在の自分の「マネジメントスタイル」の長所・短所を知り、どう変わればよいのかを探ります
- グループ討議や講師によるアドバイスによって、客観的な「アクションプラン 」を作成

講師：西嶋　陽一氏　（株式会社TRUソリューションズ　代表取締役）

〇ビジネスミッションに合わせた実践的な組織管理力を身につけたい。

〇やるべきことが多く何から手を付けて良いか分からない。

中堅社員や管理職などの組織のリーダーにとって、事業方針から展開された部門目標（ミッション）達成のためには、部下の活性度を高めながら確実な組織運営をしていくことが重要です。本セミナーでは、実組織での上司・部下からヒアリングした参加者ご自身の評価をもとに、現在の自分の「マネジメントスタイル」の長所・短所を知り、「マネジメントスキル」の課題や「マネジメントスタイル」がどう変わればよいのかを探ります。講義や個人演習だけでなく、受講者によるグループ討議や講師によるアドバイスによって、客観的な「アクションプラン 」を作成いたします。本セミナーでの成果物は日々の業務にすぐ役立てていただくことが可能です。

■対象：

管理職などの組織リーダー職（初めて部下を持った方や中堅リーダーから経験豊富な管理職まで、部門リーダー必見！）

■開催日時：

第5回	2011年11月22日(火) 10:00-18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員/ITC：31,500円　一般：39,900円

※別途「個別レビュー」をご希望の方はお問い合わせください。

■定員　20名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. リーダーの立場＜講義＞

まずは、ビジネスミッションと組織の成果や部下のモチベーションに自分自身の現状がどのように関わるかをレクチャーします。

2. 「調査票」からの自己分析
＜グループ演習＞

講義内容をふまえ、事前課題で各自が集めた「調査票」（360度評価）を活用して、自身の組織環境での自己像をグループメンバーに説明。グループ内での補足討議でさらに自分自身の今の姿を演習形式で認識し、自己変革のための方針を整理します。

3. 成果のまとめ＜個人演習＞

自分自身の「マネジメントスタイル」の革新方針と具体的な「アクションプラン」を取りまとめます。

4. 成果発表と評価

グループディスカッションから導かれた重要課題に対する方針と計画を発表し最終的なアドバイスをもらいます。

5. まとめ＜講義＞

自部門へ帰ってからすべきこと。より良い組織運営のために。

ＩＴ投資対効果とその評価方法実践モデル構築体験講座

- 戦略的ＩＴ投資にも活用できる、ＩＴ投資対効果の評価方法を学びます
- 目的別ＩＴ投資に対する効果事例の分析も解説します

講師：前橋　雅夫氏　（前橋システムコンサルティング株式会社　代表取締役）

本セミナーでは、情報化投資の評価モデルを構築するノウハウについて学習していきます。

IT投資ポートフォリオ、IT-BSC（BSCのIT投資管理・評価への適用を中心に検討する手法）、SLM（サービス・レベル・マネジメント）等のメソドロジーの活用方法を、ケーススタディを通じて体験する事ができます。

また、各企業によりIT投資に対する目的は異なります。各企業のIT投資プロジェクトの事例をシステム導入の目的別に分析し、それぞれの状況に応じた導入のポイントについても講義いたします。

■対象：

●ユーザー企業のIT部門責任者・企画担当者、利用部門責任者、経営企画部門責任者

●中小企業診断士、ITコーディネータなどのコンサルタント、および資格取得を目指す方

●プロジェクトマネージャー、システムアナリスト、セールスエンジニア

■開催日時：

第25回	2011年　6月23日（木）・24日（金）
第26回	2011年12月12日（月）・13日（火）

※10:00-18:00

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：63,000円　一般：79,800円

■定員　20名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. 情報化投資の実態を確認する
（1）情報化投資金額の実態
（2）情報化投資評価の実態
【演習問題1】
情報化投資コストとは？

2. 情報化投資の費用を把握する
（1）情報化投資コストの内訳
（2）TCO（情報化総合コスト）
（3）IT投資ポートフォリオ
【演習問題2】
情報化投資ポートフォリオモデル構築

3. 情報化投資の効果を把握する
（1）戦略型投資の評価
（2）インフラ型投資の評価
（3）改良型投資の評価
【演習問題3】
BSCによる戦略型投資評価
【演習問題4】
SLMによるインフラ型投資評価

4. 情報化投資の評価モデルを構築する
（1）評価モデルの構築手順
（2）関連資料
まとめ

事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策

□システムトラブルが発生したときに、組織が被る損害の大きさを再確認することができます
□システムトラブルの事例パターンから、対策を講じる際の重要ポイントを理解することができます
□システムトラブルの原因と対策を追究するヒューマンファクタ分析を体験することができます

講師：前橋　雅夫氏　（前橋システムコンサルティング株式会社　代表取締役）

本セミナーでは、情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を中心に、未然防止と再発防止の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をするべきか、その対策ポイントを学習します。2日間を通じ、システムトラブルの原因分析ならびに対策立案手法を、講師による解説、グループ演習等を通して理解することができます。
情報システム担当者は、日々「通常通り情報システムが動く」よう、検討と活動を重ねています。本セミナーは、更に高い信頼性を目指して、どのような取り組みをしていったらよいのか、過去の事例をJUASで分析・議論した内容をふまえたものです。

■対象：
プロジェクトマネージャ、システム品質管理責任者、システム開発チームリーダー、
システム運用チームリーダー、ISMS導入担当者、内部監査担当者、ITコーディネーター

■開催日時：

第14回	2011年　5月27日（金）10：00-18：00
第15回	2011年10月25日（火）10：00-18：00

■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　20名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1部 今なぜシステムトラブルなのか
（1）システムトラブル統計情報
（2）事件・事故の事例紹介
（3）事件・事故からの教訓

第2部 システムトラブルを未然に防止する
（1）トラブル防止に向けた取り組み
（2）開発段階では何をするべきか
（3）運用段階では何をするべきか

演習問題1
非機能要件チェックリストの作成

第3部 システムトラブルの再発を防止する
（1）システムトラブルデータベースの構築
（2）ヒューマンファクタ分析の応用

演習問題2
［事例1］サーバ設定ミスによるシステムトラブル
［事例2］プログラム変更によるシステムトラブル

第4部　まとめ

国際会計基準（IFRS）下での経営管理資料の設計・修正研究

講師：尾田　友志氏（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）

日本の会計基準がIFRSに移行すると、営業利益・経常利益がなくなり、代わりに包括利益となります。そしてこれに伴い企業経営者による意思決定の方法が、変化するのは明らかです。

特に中でも本セミナーは、IFRS下での損益計算書（包括利益計算書）・貸借対照表（財政状態計算書）・キャッシュフロー計算書の読み方から、システム設計にあたり、必要となる管理指標について学ぶものです。

■対象：国際会計基準の基礎知識をお持ちの方

■開催日時：
2011年度開催は調整中

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　40名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

はじめに　会計の基本構造

第1部　IFRSにおける財務諸表
1. 財政状態計算書
2. 包括利益計算書
3. キャッシュフロー計算書

第2部　IFRSにおける財務分析の基礎と経営管理指標（資料）研究
1. 損益計算書（包括利益計算書）・貸借対照表（財政状態計算書）による財務分析と管理指標（資料）
2. キャッシュフロー計算書による財務分析と管理指標（資料）

第3部　企業価値向上のための経営管理指標（資料）の活用と経営施策の検討

システム担当者のための設例による
国際会計基準基本会計知識マスター講座(好評第2回)

講師:広川　敬祐氏(公認会計士)

IFRSに関して多方面で、経営・業務・ITへの影響などが論じられていますが、どれも断片的で、IFRSの全体を俯瞰したような違いをまとめられているものがありません。
本セミナーでは、日本基準とIFRSとの主要な違いやIFRSの本質に関わる論点を、システム担当者の視点で体系的に分かりやすく説明し、説明の後に設例をもとに実際に計算もしくは仕訳をしていただき理解を確実なものにしてまいります。

■対象:国際会計基準の基礎知識をお持ちの方

■開催日時:

第2回	2011年5月30日(金)　10:00-17:00 5月31日(火)　10:00-17:00

■受講料(消費税、テキスト代込)

JUAS会員・ITC:63,000円　一般:79,800円

■定員　30名

■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

＜第1日　5月30日(月)＞
1. IFRSの適用により財務諸表はこう変わる
2. 収益
3. 棚卸資産と無形資産

＜第2日　5月31日(火)＞
4. 固定資産、リース
5. 負債の評価
6. 連結・持分法

本セミナーでは、説明の後に以下のような設例をもとに実際に計算もしくは仕訳をしていただき理解を確実なものにしてまいります。以下は設例項目の一例です。

設例1　IFRSベースで開示されている財務諸表の実例
設例2　直接法によるキャッシュフロー計算書作成演習
設例3　収益の認識 ― 様々な取引形態での売上計上計算演習
設例4　収益の認識 ― ポイント計算演習

派遣法・職安法の実務ポイントと常駐請負の留意点
～労働者派遣法の実務ポイントと「派遣」と「請負」の区分基準～

現場での課題・契約文例レベルまで検討する徹底研究セミナー

講師:加藤　高敏氏(社団法人日本人材派遣協会　総務課長)

個人情報保護法の施行に伴い委託者より委託者の事業所内でのシステム開発作業の実施を求められるケースも出てきており、請負と派遣の区分基準が問題になっています。
特にコンピュータソフトウェアの開発はプロジェクトリーダーのスキルによってプロジェクトの成否がわかれます。このために請負・派遣のいずれにおいても事前の面談をしたいところです。役所は請負・派遣のいずれにおいても技術者個人に対する面談等は違法であるという見解を示しています。
そこで、労働者派遣法の基礎から応用問題(委託先の調査はどこまでできるのかなど)までを網羅的に取り上げ、契約文例レベルまで解説するセミナーを企画いたしました。
また、テキストとして、項目だけでなくオリジナル解説書と契約文例集を使用し、セミナー受講後の復習を考慮しています。

■開催日時:

2011年8月5日(金) 10:00-17:00

■受講料(消費税、テキスト代込)

JUAS会員・ITC :31,500円　一般39,900円

■定員　40名

■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

1　労働者派遣事業とは

2 「派遣」と「請負」の区分基準
(1)労働者派遣事業と請負により行われる事業の区分の関する基準
(2)区分基準の個別具体的な事例検討

3　労働者派遣契約から派遣就業、派遣要員受け入れまでのチェックポイント

4　現場で発生する具体的な諸問題についての検討
＜請負関係＞
委託先の調査はどこまでできるのか、人名の入らない経歴書受領、商談への出席依頼／人名の入った開発体制図をもらっている／パーティション、看板、間仕切りのいずれを使えばよいのか／請負人に対する注文・指図とは／リーダーやメンバーの変更要求／コンサルタントの指名／完成したシステムの運営・保守と機器の提供／請負人等の責任者は複数選任してよいか／システムにトラブルが発生したときに、ユーザーから直接受託者の担当者に問い合わせさせてよいか／二次下請け先に対するプロジェクト管理は
＜派遣関係＞
個人名の入らない業務経歴書の受領／派遣契約で成果物を定めることができるか／派遣労働者に対する雇用の申し込みに関して、新卒の採用・配置の際にも雇用申し込みをしなくてはならないのか
＜二重派遣についての具体的対応＞

5　請負契約において客先で作業を行う場合、派遣要員を受け入れる場合の留意点
(1)請負契約に基づき客先で作業をする場合の留意点
(2)派遣労働者(要員)を受け入れる場合の留意点

事例・設例から学ぶ
常駐請負・派遣についてのリスクマネジメントと対応のポイント

講師：井上　守氏
（（LLP）IT産業サービス機構・（LLC）全国ソフト開発取引センター　理事長　元株式会社インテック取締役）

請負と派遣の区分基準については「点検表」が労働局から出されており、これをもとに技術者の進捗会議への出席の是非など、本質とかけ離れた細かい事象が議論されているように思われます。

本質的な区分基準は①指揮命令、②勤怠管理、③当事者の意識の３点ではないかと考えております。また、人の意識の変化(“たれこみ”は正当なこと、泣き寝入りはしない…など)、うつ病などの疾病者の増加、弁護士の増加など労務リスクが格段に増しています。

これらのことをもとに意識改革の必要性から現場での対応まで具体的かつ詳細に検討します。

■開催日時：

第2回	**2011年5月17日（火）　10：00-16：00**

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC　：31,500円　一般39,900円

■定員　40名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. はじめに
・派遣法のおさらい
・派遣法の改定－IT業界は改定に関係なしだが、大丈夫か

2. 設例・事例から学ぶ常駐請負の留意点と対応策
・現場での派遣と請負の区分基準－ルールと立証手段を区分すること　・自社の開発現場では一括請負発注しているが受注会社が多重派遣しているようだが、知らん振りでよいか　・責任者が他の現場とかけ持ちしている　・進捗会議、工程会議　・指揮命令や管理業務を第三者に委託できるか　・指揮命令、勤怠管理が派遣の要件だが、どの程度まで許されるか　・時間精算・出来高精算をしたらどうなるか　・災害時を想定し、緊急連絡網にすべての派遣労働者や請負会社の労働者を記載してもよいか

3. 事例から学ぶ常駐請負・派遣における労務リスク管理のポイント
・想定内のトラブル－勤怠、スキル不足、うつ病、インフルエンザ　・想定外のトラブル－自殺、喧嘩、セクハラ、パワハラ　・労働災害適用－基準が低くなっている過重労働、労災保険　・技術者・家族が黙っていなくなった職場の責任を問う。48%が民事で争う　・個人技術者との契約のリスクを知る

4. リスク管理のポイントのまとめ
・管理者の意識改革の必要性　・発注者の現場で発生したトラブルは契約形態（請負・派遣）に関係なく、すべて発注者の責任と考える。 PM以外に、安全管理者を置く　・任意労災保険への加入の勧め－現場の技術者（外部委託会社含む）

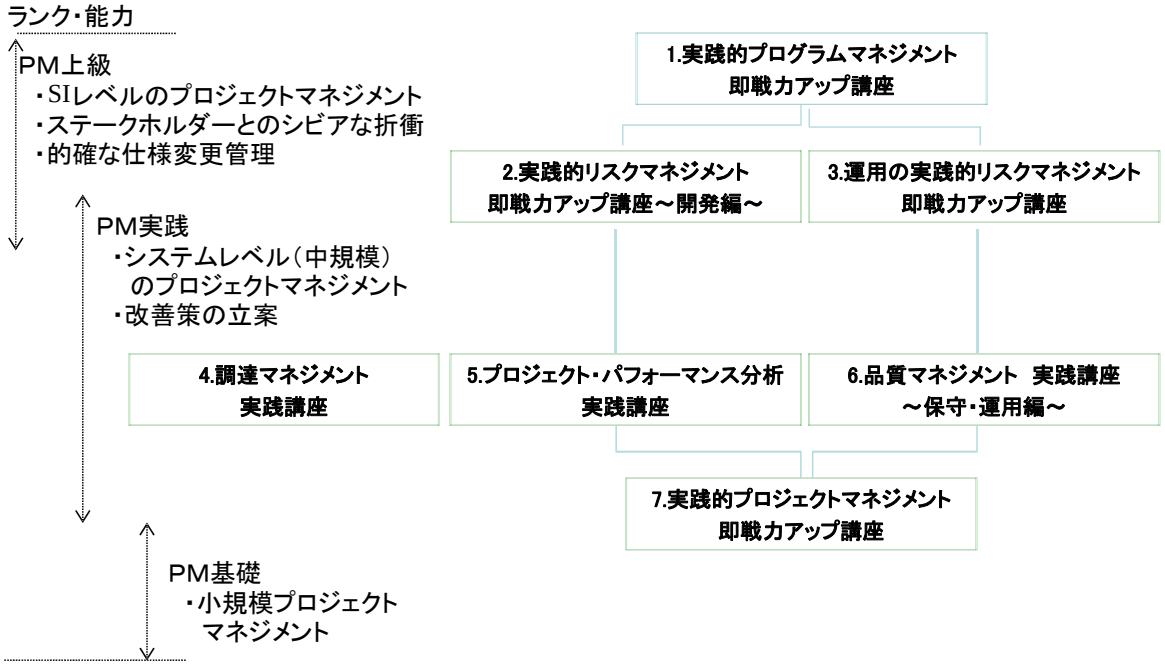
JUAS seminar

スキルトレーニング

※セミナーの日程は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。

PMセミナー　各コースの位置づけ

JUAS　セミナー関連図



さらなるイノベーションへ！

1.統括プロマネがやるべき、組織戦略の具体的な実現方法
～実践的「プログラムマネジメント」即戦力アップ～

今、求められているのは、ピンチをチャンスに変える、現状からさらなる成長・イノベーションを起こす組織戦略とその戦術です！

講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント　ビジネスコンサルティング部長）

競争力のある差別化システムを作るため、これからのIT部門は、「QCD達成」から、企業が継続して成長していくために立てられた「組織戦略と価値創造達成」に更に視点をあげ、どう実現すべきか戦術が問われます。

このセミナーでは、組織戦略を実現するために統括プロジェクトマネジャ（＝プログラムマネジャ）が、経営と現場（縦串）と部門間（横串）を統括するための具体的なアプローチとして、PMIプログラムマネジメント標準第2版を参考にしながら、講師自らの経験と使えるノウハウを加え、戦術＝実践方法を学びます。プログラムマネジメント適用事例や参加者とのグループ演習を通し、より理解を深めていただける構成になっております。

■対象：統括プロジェクトマネジャ（プロジェクトマネジャを仕切っている方）、プロジェクトマネジャの上級を目指す方、プログラムマネジメントに興味のある方、PMP取得者など

■開催日時：

第3回	2011年 7月8日(金) 10:00-18:00
第4回	2012年1月19日(木) 10:00-18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1章. プログラムマネジメント概要
(ア)プログラムマネジメントの位置づけ
(イ)プログラムとは
(ウ)プログラムマネジメントとは
(エ)グローバル・スタンダードとナショナル・スタンダード
(オ)UISSとPMI標準の関係
(カ)世界のPM組織と標準規格

2章. PMIプログラムマネジメント解説
(ア)プログラムマネジメント・フレームワーク
(イ)プロジェクト・ライフサイクル
(ウ)ベネフィット・マネジメント
(エ)プログラムマネジメント・プロセス
(オ)プログラムマネジメント知識エリア

PDU取得修了書発行
7時間7PDU

3章. プログラムマネジメント適用事例
(ア)事例1：「幾多の危機を乗り越える世界水準のプログラムマネジメント力」 ～「ベンチャー企業A社の新事業実行事例」～
■演習1
(イ)事例2：A銀行における共同事業への参画とITシステム開発へのプログラムマネジメント適用事例
■演習2

4章. 実践プログラムマネジメント
(ア)プログラムマネジメント適用上の留意事項
(イ)プログラムマネジャーに求められるスキル
(ウ)その他

2.実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編～

- **リスクマネジメントを行う際に必要なリスク識別、リスク分析を中心に 即活用できる具体的なノウハウを伝授します**
- **モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義します**

講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント　ビジネスコンサルティング部長）

プロジェクト成功の鍵は、問題が表面化する前に、プロジェクト計画段階で、リスク要因を抽出・分析し、対策を施すこと。
リスクに気づく力、リスクを読み出す力を伝習します！

本セミナーは、「実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～見積・提案編」のステップアップコースとして、プロジェクト成功のための一つの鍵になる「リスク管理」にターゲットをあてたコースです。
プロジェクトマネジメントとは、リスクが現実化して計画との差異が生じた時に、如何に的確に対処するかにあるといえます。本セミナーでは、リスク管理にターゲットをしぼり、「プロジェクト計画段階でのリスクマネジメント計画」、「リスク識別」、「定性的・定量的リスク分析」、「リスクの監視コントロール」などについて講師の経験豊富な講義と具体的なケーススタディを通してリスク管理の重要性について理解を深めていきます。

■前提条件：「実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座」受講済み、もしくは、プロジェクトマネージャの経験がある方
■対象：　プロジェクトマネージャ、プロジェクトマネージャを支援する上位管理者

■開催日時：

第11回	2011年 6月13日(月)・14日(火)
第12回	2012年 3月15日(木)・16日（金）

※いずれも10：00−18：00

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：63,000円　一般：79,800円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. リスクマネジメントの概要
2. リスクマネジメント計画
（講義、事例の解説）
3. リスク識別（講義、個人演習）
4. 定性的リスク分析
（講義、個人演習）
5. 定量的リスク分析
（講義、個人演習）
ケーススタディ1：要件定義完了時
失敗事例を通じて、ロジックツリー技法で原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率を導く方法を身につける

6. リスク対応計画
（講義、個人演習）
7. リスク監視とコントロール（講義）
8. リスクとリスクマネジメントの具体的な事例（講義）
ケーススタディ2：基本設計完了時
失敗事例を通じて、チェックリストを活用して、原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率、対策を導く方法を身につける

PDU取得修了書発行
14時間14PDU

3.調達マネジメント実践講座

- ケーススタディを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。
- 多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します

講師：佐藤　義男氏（株式会社ピーエム・アラインメント　代表取締役社長）

今、世界的にプロジェクト化ビジネスの時代に入っており、対応できる人材の育成が求められています。プロジェクトを成功に導くためには、発注者が明確な発注仕様を提示することが必要です。さらにベンダー管理について、意識とマネジメント技術を体得する必要があります。一方、UISS（情報システムユーザースキル標準）でも、ITベンダー企業への発注時に必要なスキルとして「調達と調達マネジメント」が定義されています。今回のゴールは以下のとおりです。

（1）PMBOK® ガイド準拠の調達マネジメント・アプローチを習得する。
（2）RFP作成のポイントを習得できる。
（3）システム開発において考慮すべきITベンダー管理のポイントを学ぶ。
（4）トラブル事例により、問題点の整理と対策のポイントを習得できる。

■対象：プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャを目指している方、発注担当の方

■開催日時：

第7回	2011年　6月21日（火）　10:00～18:00
第8回	2011年12月20日（火）　10:00～18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. 調達マネジメントの位置付け
2. ソフトウェア請負業の実際例
3. 発注者に求められるスキルとは
4. 調達計画
5. 調達実行
6. 調達管理
7. 調達終結
8. ITベンダー管理におけるリスク
9. ケーススタディ（ITベンダー管理トラブル）

PDU取得修了書発行
7時間 7PDU

4.運用の実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座

□運用段階におけるリスクマネジメントを行う際に必要であるリスク特定、リスク分析を中心に、即活用できる具体的なノウハウを伝授します。
□モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義します

講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント　ビジネスコンサルティング部長）

運用段階でのリスク管理成功の鍵は、運用設計の検討段階で、リスク要因を可視化し、コストバランスに合った対策を施すこと！

情報システムを作り上げる開発より、情報システムを運用する期間の方が平均17年（JUAS動向調査）と圧倒的に長いのは確かです。それはつまり、リスクも多岐にわたり、そのリスクをマネジメントすることの重要性は、明らかです。

運用段階でのリスクマネジメントの成功の鍵は、まず運用設計の検討段階で、リスク要因を「可視化」して共有できる環境を作り、どこまで取り組むべきかコストバランスにあった対策を施すことにあります。そして、継続していくための横断的な組織やリスクを出しやすい環境を作り続けることにあります。運用リスクの発生確率とその影響に伴う損失を最小化し、顧客の満足度、あるいは、事業目的、企業価値を向上させることが運用のリスクマネジメントです。

そこで今回は、その実現に向けて、運用サービスの利用者と提供者が、リスクと品質、コストのバランスの取れたリスク管理について、「運用設計段階でのリスクマネジメント計画」「リスク特定」「定性的・定量的リスク分析」「リスクの監視コントロール」（PDCA）などについて、具体的なケーススタディを通してリスク管理の重要性について理解を深めていきます。PMBOK、ITILなどの標準に基づく形式だったマネジメントにこだわらず、講師の経験豊富な講義と具体的なケーススタディを通して即使えるノウハウを中心に実施いたします。

■対象：　運用管理者、担当者、プロジェクトマネージャの方、情報システム部門管理者、運用委託先ベンダー管理者など

■開催日時：

第5回	2011年8月24日(水)・25日(木)
第6回	2012年2月16日(木)・17日(金)

※いずれも10:00-18:00

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：63,000円一般：79,800円

■定員　25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

PDU取得修了書発行14時間14PDU

1. ITサービス・リスクマネジメントの概要
2. リスクマネジメント計画
3. リスク特定
4. 定性的リスク分析
5. 定量的リスク分析

ケーススタディ大規模障害からリスクの教訓を整理する

ITサービスにおける本番トラブルの事例から学ぶ（演習）。グループ討議を通じて失敗の原因と、2度と起こさないようにそこから連想されるリスク事象、発生確率、影響の結果を検討し実務に応用。

6. リスク対応計画
7. リスク監視とコントロール
8. リスクとリスクマネジメントの具体的な事例

ケーススタディ2：ITサービス事業目標達成に向けたリスク対策を検討する

問題山積のITサービス業務の事例から学ぶ（演習）グループ討議を通じて、リスク事象、リスク原因、対策を発表いただき、新しい気づきを知り、感覚・センスを磨いて、実務に応用。

5.プロジェクト・パフォーマンス分析実践講座

- システム保守部門における品質マネジメントの成功の鍵はコスト、スケジュール、品質、作業範囲の目標間の関係を柔軟にトレードオフし、意思決定を行うこと！

講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント　ビジネスコンサルティング部長）

プロジェクト管理者が「毎回異なるプロジェクトの独自性を考慮し、プロジェクト測定ニーズを捕え、プロジェクト目標を達成する」ためには、どのような管理指標を選定し、測定すれば良いのでしょうか。またどのように、実現可能性の評価とプロジェクト開始後のパフォーマンス分析を行えば良いのか、その定量化の実践的活用方法が求められています。

本セミナーでは、①事実に基づく測定の重要性について理解を深め、ユーザー満足度を高めるにはどうすれば良いのかを考察し、ユーザー満足度と、コスト、品質納期の関係を明確にしていきます。②プロジェクトの管理者が、客観的なコミュニケーションと情報に基づく意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、トレード・オフの考え方、意思決定方法を習得します。③具体的なケーススタディを通して測定の重要性、客観的事実に基づいた意思決定の重要性について理解を深めていきます。
④プロジェクト・パフォーマンス測定・分析の主要テーマの測定ポイントを理解します。⑤実践的な可視化の仕組み作りについて事例研究を行います。

■対象プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャを目指している方、PMOの方
（ソフトウェア・システム開発のパフォーマンス分析を中心に行います）

■開催日時：

第7回	2011年　6月17日（金）　10:00～18:00
第8回	2011年10月　7日（金）　10:00～18:00
第9回	2012年　1月16日（月）　10:00～18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第一章：パフォーマンス測定・分析の　重要性（講義）
1. 今日の環境
2. 何故測定が重要か
3. プロジェクトレベルの測定
4. ソフトウェア測定の重要な概念
5. 測定の原則

第二章：パフォーマンス測定・分析の手順（講義、ケーススタディ）
1. 測定計画の作成
2. 実現可能性の分析
3. 実績の分析
4. 全体講評

PDU取得修了書発行
7時間 7PDU

6.品質マネジメント実践講座～保守・運用編～

- ユーザー満足度をどのように高めるかを考察し、ユーザー満足度と、コスト、品質納期の関係を明確にします
- 意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、意思決定方法を習得します

講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント　ビジネスコンサルティング部長）

今般、システム保守・運用では、時代の変化に伴い、新たな課題が発生しています。システム保守では、高品質な保守をいかに早く、安くするかという方法論と高度な保守技術者の必要性が課題とされ、システム運用では、ジョブ管理中心のオペレーション要員確保からオープン化に伴う機器構成変更、OSのバージョンアップ、パッチ対策、ミドルウェア、ウイルス対策など広範囲な技術力とマネジメント力を持った運用力の確保が重要となってきています。しかし、信頼性・安定稼働を求めすぎるために、過剰な要員確保や、品質保証活動といった作業負荷をかけることは現実的ではありません。ユーザーが求めるサービスレベルを明確にし、その目標を達成するためのトレードオフを柔軟に行うことが要求されます。

本講座では、①ユーザー満足度を高めるにはどうすれば良いのかを考察し、ユーザー満足度と、コスト、品質納期の関係を明確にしてきます。②サービスマネジメント組織の管理者が、客観的なコミュニケーションと情報に基づく意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、意思決定方法を習得します。具体的なケーススタディを通して、「測定の重要性」「客観的事実に基づいた意思決定の重要性」について理解を深めていきます。

■対象　現在サービスマネージャとして活躍されている方、保守・運用部門の管理担当者として活躍される方

■開催日時：

第8回	2011年 4月18日（月）10:00～18:00
第9回	2011年 8月　1日（月）10:00～18:00
第10回	2011年12月 5日（月）10:00～18:00
第11回	2012年　3月 8日（木）10:00～18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第一章：
システム測定の重要性（講義）
1. ITを取り巻く環境
2. 大規模障害の脅威
3. なぜ、大規模障害はゼロにならないか
4. なぜ測定が重要か
5. 測定目的
6. 測定の重要な概念
7. 測定の原則
8. 品質プロセス・モデル

PDU取得修了書発行
7時間 7PDU

第二章：品質計画（測定計画）
（講義、ケーススタディ）
1. 品質計画の概要
2. 品質方針の検討
3. 測定計画の準備
   ケーススタディ1・2
4. 主要な指標の活用方法

第三章：品質管理（実績の分析）
（講義、ケーススタディ）
5. 品質管理の概要
6. 実績の分析
7. ケーススタディ3：実績の分析

7.実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座
～提案・見積・ＰＭ強化編～

- プロジェクトマネジメントを行う際に必要である人間的な要素（ヒューマンスキル）を中心に、即活用できる具体的なノウハウを伝授します。
- モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義します。

講師：佐藤　義男氏（株式会社ピーエム・アラインメント　代表取締役社長）

効果的なプロジェクトマネジメントの推進は、「提案と見積をどう判断し、評価するか」が鍵を握っています！

本セミナーでは、プロジェクトを成功に導くための各段階における的確な提案評価と見積評価のポイントを、ケースによる演習を通して身につけてます。また、プロジェクトマネージャが管理面で留意すべきポイント（実績報告、問題管理、変更管理、コミュニケーション管理、品質管理等）について演習を通して理解を深めていきます。

PMBOK®などの標準に基づく形式だったプロジェクトマネジメントにこだわらず、具体的、かつ実践的な即使えるノウハウを中心に、グループ演習にてモデルケースを利用し実施いたします。また、数多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

■対象：プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャを目指している方

■開催日時：

第18回	2011年　7月14日(木)・15日(金)
第19回	2011年11月24日(木)・25日(金)

※いずれも10:00−18:00

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：63,000円　一般：79,800円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

オリエンテーション
1. イントロダクション
・プロジェクトマネジメントの必要性
・プロジェクトにおけるリスクの存在
2. ITプロジェクトにおけるマネジメント実務レベルへの落とし込み
(1)IT業界におけるプロジェクトマネジメントのトレンド
(2)ITプロジェクトが失敗する原因
(3)ITプロジェクトの特徴と必要スキル
(4)提案・見積実践
(5)適正なプロジェクト計画の策定
(6)実行管理のポイント
(7)プロジェクトマネジメント成功の条件
3. プロジェクトマネジメントの手法・技法を事例を通じてグループ演習と発表でシミュレーション
(1)情報システム構築プロジェクトのRFPと見積事例から学ぶ（演習）
ヒヤリング実施から工数・価格見積、実施体制、開発日程を含む提案書を作成
(2)失敗プロジェクトの事例から学ぶ（演習）
EDIシステム構築プロジェクトの失敗事例を取り上げ、グループ討議

PDU取得修了書発行
14時間14PDU

−プロジェクトを成功させる極意−要求分析（２日間）コース

MIND−SA　ハンドブックを配布

講師：北原　辰義氏（　システム企画研修株式会社　コンサルタント　）

「要求分析」から「要求定義」に至るプロセスは、上流工程における最も重要な工程と言われています。しかし、その根拠となる「要求分析」が不十分では、その後の「要求定義」も本来の目的を実現できないものとなってしまいます。多くの場合、この「要求分析」がおろそかになっていることが多いのです。本セミナーでは、システムの成否を左右する要求分析を進めるに当たっての考え方と手順及び手法を習得いただきます。 ※本セミナーでは演習の解答配布はありません。 代わって皆様の演習の結果を配布いたします。

【目的】
①「要求分析」の基本的な考え方である価値目標思考（目的思考）を習得。（価値目標と目的・ねらい、問題と課題など ）
②「要求分析」を行うための具体的な手法及び成果物（ドキュメント）の作成方法を習得（目的設定手法、問題点連関図手法、機能要件設定手法など ）
③「要求分析」の合理的な手順を習得。（3アクティビティ12タスク構成など ）

【ねらい】
後続の要求定義が的確な方向づけの基に実施でき、効果的な要件定義につながっていきます。それにより、システム開発における上流工程の品質向上、開発期間短縮、開発コスト削減を実現をめざします。この結果、ユーザー部門（或いは顧客）の満足度の向上が図れ、高い信頼が得られます。

■対象：要求分析／要求定義を担当する方、又は研究されたい方 、システム経験　3年以上の方

■開催日時：

第2回	2011年6月1日(水)・2日(木)

※1日目10:00-18:00　2日目10：00-18：30

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：63,000円　一般：79,800円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1.要求分析の重要性と困難性（解説）
2.要求分析・要求定義・要件定義の基本解説
3.要求分析の詳細解説と演習
(1)目標設定
①目標明確化 ②フェーズ計画作成
③概略システム想定 ④目標承認
(2)現状調査・分析
①現状調査方式設定 ②原因・解決策究明
③実態把握 ④問題点・ニーズ分析
(3)課題設定
①基本方針立案 ②機能要件分析
③課題明確化 ④課題承認

クラウド時代のプロジェクトマネジメントの変化と留意すべきポイント

～難易度と重要管理テーマが変わる？！ ①導入前の評価選択（事例紹介）、②導入決定後の経営戦略合致度、③現システムとの連携、プロジェクト・リスク管理、④ライフサイクルの視点。より多様なシステム構築のプロジェクトマネジメント強化が求められる中、具体的な手法と活用事例をもとに留意すべきポイントをご紹介します！！～

講師：佐藤　義男氏 （株式会社ピーエム・アラインメント　代表取締役社長 ）

クラウドの波が押し寄せている中、ITのユーザー企業は、冷静に「本当に使えるものなのか」検討し、徐々にシステムの性質に合わせて活用を始めている傾向にあります。クラウド導入による今までのプロジェクトマネジメントとの変化と留意点について検証する必要があります。そこで今回は、

①導入前：差別化、スピードアップ、コストダウンなど経営戦略を実現するために、クラウドを導入すべきかの評価について、活用先進企業事例をご紹介

②導入決定：導入を決めた際、経営戦略に合ったクラウド導入になっているか（フィット・ギャップ分析、ソフトの評価・選択）のポイント

③運用管理：クラウド導入を決めたシステムと既存システムとの連携によるプロジェクトマネジメント（リスクマネジメント含む）の留意すべきポイント

④ライフサイクル：クラウド導入から利活用まで、全ライフサイクルを通したプロジェクト／プログラムマネジメントのポイントについて、経験豊富な講師より講義頂きます。 また、実際のユーザー企業導入事例をもとに、その現状を演習形式で分析します。

情報システム管理者必見の講座です。

■対象： プロジェクトマネージャ、プロジェクトマネージャを支援する上位管理者

■開催日時：

第3回	**2011年 6月　2日(木)　10:00-18:00**
第4回	**2011年10月13日(木)　10:00-18:00**

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. クラウドコンピューティングのメリット
   （1）ライフサイクル・コスト削減との関係
   （2）具体的なメリット
2. クラウドコンピューティングの形態
   （1）クラウドコンピューティングへの進化
   （2）クラウドコンピューティングの形態
3. ユーザー企業におけるIT活用の変化
   （1）取り巻く環境の変化
   （2）IT利活用の変化
4. クラウド時代に求められる人材ニーズの変化
   （1）技術の変化
   （2）プロジェクトマネジメントの変化
5. プロジェクトマネジメントへの影響
   （1）特に影響を与える知識エリア
6. 企画・計画に必要なスキルと留意すべきポイント
   （1）導入検討項目
   （2）IT部門の役割
7. 設計・構築に必要なスキルと留意すべきポイント
   （1）プライベートクラウド構築のスキル
   （2）相互接続と統合
   （3）問われるプロジェクトマネジメント力
8. 運用に必要なスキルと留意すべきポイント
   （1）クラウドで変わる運用管理
   （2）留意すべきポイント
9. ライフサイクル視点での留意すべきポイント
   （1）クラウド導入から利活用までの評価
   （2）信頼性向上のためのプログラムマネジメント
10. 演習

PDU取得修了書発行
7時間7PDU

大好評！清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座

～USDMの活用とユーザーとベンダーの協同作業が重要～

講師：清水　吉男氏（株式会社システムクリエイツ　代表取締役）

プロジェクトの成功の秘訣は、要求定義書の明確化にあります。しかし「何をどのように書けば良いのか」を具体的に記述したガイドはほとんどありません。自らの「要求」を確認し、「仕様」として表現していく必要があります。この「要求仕様」をユーザーがすべて書くのがベストであり、そこまで求められていますが、もし書ききれない場合は、パートナーとなるベンダー企業と協同して「仕様が漏れない要求仕様」が書きあがれば、プロジェクト成功への第一歩と言えるのではないでしょうか。

そして、更にポイントになるのが仕様の変更管理です。仕様の変更がないのがベストですが、人間が考え出すことに要求が増えていくことは、自然な成り行きともいえます。仕様が変わる、増えた場合に、それがきっちり管理できて、お互いの成果に反映できていれば、問題にならないはずです。

今回は、「仕様が漏れない要求仕様」をどのような点を注意し、書いていったらいいのか、USDM（Universal Specification Describing Manner）という具体的な表記法はもちろん、要求を仕様化する際の考え方、整理すべき点、注意すべき点などを中心に演習を交えた講座をご用意させていただきました。この業界では、多数の成功プロジェクトの経験者として有名な講師の事例なども交え、具体的、かつ実践的な即使えるノウハウを中心に実施させていただきます。世の中にあふれる「要求仕様書の書き方」講座とは一味違う、充実の講座です。ぜひご参加ご検討ください。

■対象：ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャ

■開催日時：2011年度は2回開催

第6回	**2011年5月18日(水)**
第7回	**2011年11月10日(木)**

※いずれも10:00-17:30

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：31,500円一般：39,900円

■定員：45名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1章：なぜ、仕様が漏れるのか
第2章：USDMの特徴
第3章：要求を表現する（演習）
第4章：要求を仕様化する（演習）（事例紹介）
第5章：画面仕様にもUSDMを適用する
第6章：作り方の品質要求の扱い
第7章：要件管理プロセス

〈USDMの特徴〉

①「必要機能、必要十分要件を記述する際には、機能仕様、機能要件に加えて理由（さらに必要ならば説明）を必ずつける。このことによりなぜこの方法が必要になるのかがより一層明確になる。

②要求機能が要件定義にどのように展開されたのかが、系統的にフォローでき、開発だけでなく保守作業にも引き続き活用できるので、機能のTraceabilityが確保できる。

③このUSDM方式は、EXCELを活用して機能、非機能を詳細に定義できるので、従来どのベンダーも出来なかった仕様変更回数などが簡単にカウントでき仕様変更率のマネジメントが可能になる。

④IEEE830に提唱されている開発ドキュメント方式も、この方式に近似しており、国際的にも通用しやすい。

清水吉男の保守・改良（派生開発）にマッチした仕様変更管理と書き方講座

～USDMの活用と派生開発ならではのアプローチが重要～

講師　:清水　吉男氏（株式会社システムクリエイツ　代表取締役）

企業経営にとって、システムの利活用が当たり前のこの時代、全くの新規開発より多くなってきているのが既存システムを一部流用した「保守開発」です。既にあるシステムを、改良、訂正、機能追加する保守作業こそ、企業の競争力の源泉です。保守開発は、下記のような状況があります。

①保守には、タイプがいろいろある。（是正保守、予防保守、緊急保守、適応保守、完全化保守、改良保守）

②タイプが色々あるにも関わらず、新規開発プロセスを真似たアプローチを行なっている。

③既存システムの活用により、社会環境の変化に対応した、新しい製品を生み出せる可能性がある。

このような状況にて、「保守開発」を行なっているため、「保守開発」によるシステムトラブルも多発しています。そこで、この状況を打破すべく、清水先生が理論と実践をもって確立されたのが「XDDPという派生開発プロセス」です。

今回は、その「派生開発」にマッチした仕様変更の管理や仕様の書き方、プロセスのノウハウをご紹介いただく講座をご用意いたしました。この業界では、特に多数の組み込み系プロジェクトにて成功経験を持つ講師の事例なども交え、具体的、かつ実践的で即使えるノウハウをご紹介いたします。この「派生開発」における仕様の書き方として、必須になってくるのがUSDM方式です。USDMについては、「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座」をご参照ください。世の中にない充実の講座です。ぜひご参加ご検討ください。

■対象:ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム保守開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャ　など

■受講条件:JUASセミナ「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様書の書き方講座」を受講された方、
もしくは『要求を仕様化する技術、表現する技術（技術評論社）』を読まれた方

■開催日時:2011年度は2回開催

第3回	2011年6月9日(木)　10:00-17:30
第4回	2012年1月26日(木)　10:00-17:30

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC:31,500円一般:39,900円

■定員:45名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1章:保守開発との違い
第2章:派生開発の現状
第3章:派生開発の特徴
第4章:XDDPによる派生開発（演習）
第5章:XDDPにおける品質要求
第6章:XDDPにおける要件管理
第7章:XDDPを適用することの効果
第8章:取組み時の注意
第9章:XDDPの成功事例

〈派生開発とは〉

「社会や環境の変化に対応するために既存システムへの機能の追加・削除・仕様変更によって新たな製品を生み出したり、業務プロセスを改善する、既存のソースコードの一部を流用しながら新規開発を行うこと」を意味します。この「派生開発」の要求にマッチしたプロセスの導入を、さまざまなプロジェクトにて実践し、プロジェクトを成功に導き、開発手法を確立してきました。

ソフトウェア文章化作法　初級 若手向け

相手に伝わる文章を書くためのポイントと考え方の基礎を学びます

講師　（第25回担当）:上田　志雄氏　（㈱ティージー情報ネットワーク）
（第26回担当）:栁田　和幸氏　（日本ナレッジ総合研究所　代表理事）

情報システム構築において、無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。

しかし、日本語には、主語が明確でなくても何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表すあいまいな表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文章においては、具体性がなくあいまいな表現がトラブルの元になります。

ソフトウェア文書において一番大事なことは、自分の希望・意思を相手に間違いなく伝えることです。

そのためにはどのように記述すればよいのか、日本語の基礎を見直し、日本語の特徴を把握して、ソフトウェア文章を明快に記述する「作法」を演習で実体験していただきながら習得するコースです。

■対象:IS部門・企画部門・SI企業等で仕様書・提案書をご担当者の方

■開催日時:

第25回	2011年 7月28日（木）・29日（金）
第26回	2011年11月17日（木）・18日（金）

※いずれも　10:00-18:00

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC:63,000円、一般:79,800円

■定員　25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

＜1日目＞
1.オリエンテーション
2.文章力確認
3.日本語の特徴
4.日本語の特徴
5.紛らわしい文章
6.文章力向上の基礎

＜2日目＞
7.文章作成の基本
8.縮約による文章力の向上
9.ビジネス文書の作成
10.システム企画書
11.ソフトウェア文章の目的・位置づけ・構成

部下を持つ管理者必見　ソフトウェア文章化作法　中堅管理者向け

部下が作った提案書、仕様書を、正確に伝わる文章に修正、改善することが出来ますか？

講師：福田　修氏　（テクノロジー・オブ・アジア株式会社　代表取締役）

情報システム構築において、無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。

しかし、日本語には、主語が明確でなくても何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表すあいまいな表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文章においては、具体性がなくあいまいな表現がトラブルの元になります。

JUASではソフトウェア文章における日本語のあり方について、約2年間議論を重ね、『SEを極める仕事に役立つ文章作成術』(日経コンピュータ出版　(社)日本情報システム・ユーザー協会／福田修　編)を出版いたしました。「ソフトウェア文章化作法」講座では、この書籍の内容の重要ポイントを演習を通して体験しながら習得するとともに、講師の日本語・ソフトウェア文章における知見、仕事の進め方方などを伝授します。

さらに「中堅管理者向け」コースでは、部下の指導をされる方のために、提出された文章を正しく修正・改善するための指導法についても習得していただきます。

■対象：IS部門、企画部門、SI企業の部下のいる管理職の方

■開催日時：

第18回	2011年5月12日(木)・13日(金)
第19回	2011年10月12日(水)・13日(木)

※いずれも10:00-18:00

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：63,000円　一般：79,800円

■定員　25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

＜1日目＞
1. セミナーの目的とねらい
2. 日本語に関する最近の動向と企業
3. 部下指導の心構えと方法
4. 基礎力確認
5. 文法の復習
6. 文章を読む力と書く力
7. 悪文例と訂正方法
8. 文章力向上の方法

＜2日目＞
1. 縮約による文章力向上
2. 要約による構成力向上
3. 文章作成の基本技術
4. 一般的な業務文章の書き方と指導
5. ソフトウェア文章の書き方と指導
6. 提案依頼書の書き方
7. 提案書の書き方
8. 要件定義書の書き方
9. まとめ

若手SEの説明能力・ドキュメント作成能力向上を目指す

若手SEのためのロジカルシンキング入門

講師：寺池　光弘氏（株式会社シーエーシー　医薬システムユニット　シニアコンサルタント）

こんなことはありませんか？

●報告書や計画書や見積り依頼書を作成する際、自分の伝えたいことはなんとなくはわかっているが、どのようにまとめればよいかいまひとつわからないため、重要なポイントを書き漏らしてしまったり、独りよがりな文章を書いてしまい、意図が正しく伝わらない。

●上司に報告や説明を求められた際、話しを組み立てずに説明を始めてしまい、「何を言っているのか分からない」と指摘される。あるいは説明が冗長になってしまう。

本セミナーは、ビジネスの現場をひととおり経験された若手社員が、ビジネスシーンにおいて、自分の意図を的確に相手に伝えるための、「考える視点」と「構造化する力」を身に着けるためのコースです。

物事を漠然と捉えるのではなく、論理的に考え、説明する（話す／書く）ことができるようになるための、考え方と手法を解説します。また、これらの考え方と手法を活用し、納得性・説得性のあるドキュメントを作成する方法を伝授いたします。

講義だけでなく、受講者参加型のグループディスカッション・演習（発表・説明）を実施しながら進めますので、知識を実践的に習得できます。好評につき、シリーズで開催いたします。

■対象：業務経験数年の若手メンバー（情報システム部門・情報システム子会社、SIer等）

■開催日時：

第11回	2011年 6月 8日（水）　10:00-18:00
第12回	2011年11月 2日(水)　10:00-18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員：25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. **オリエンテーション／アイスブレーキング**
2. **思考方法を理解する（講義・グループ演習）**
   まずは、論理的な思考力とは何かをレクチャーし、演習で実感していただきます。
3. **論理の組み立て方を学ぶ（講義・グループ演習）**
   論理的に考えるための、下記の手法について解説、演習で実践してみます。
   ロジックツリー／帰納法と演繹法／So-Why So-What／MECE／フレームワーク
4. **ライティング/コミュニケーションへの応用（講義・グループ演習）**
   ビジネスシーンにおける文書作成のポイントをレクチャーし、演習で実践してみます。
   ・わかりやすい文書の三原則　　・ビジネス文書における表現の原則
   ・ビジネスメールにおける表現の原則
5. **まとめ・振り返り（講義・グループ演習）**
   研修内容をふまえ、目標と実践するための行動を書き出し、グループでディスカッショ ンを行い、実践につなげます。

効率的で効果的な情報収集･分析を行うための基本手法を習得

若手SEのためのロジカルシンキング～システム企画編～

講師：寺池　光弘 氏（株式会社シーエーシー　医薬システムユニット　シニアコンサルタント）

本セミナーでは、システム化計画フェーズ・提案フェーズを題材に論理的思考ツールを実践的に活用し、効率的で効果的な情報収集・分析を行うための基本手法を習得します。受講者参加型（講師とのインタラクティブなやりとり、グループディスカッション、ロールプレイ）で進めますので、知識を実践的に習得できます。また、参加者各自が研修終了後の実行計画を立てることで学習後の現場実践のための動機付けも明確になり、モチベーションアップにも繋がります。

システム企画上、身につけておかなくてはならない情報収集力について、

- ●多様な情報を分かり易く整理できる
- ●お客様が、何を問題にして何をしたいのかを明確に理解し納得感のある投資対効果を提示する
- ●収集目的に沿って、効率的に情報を収集できる

ようになるための、一通りの知識と基礎的な実践力を養う若手必見のコースです。

★「若手SEのためのロジカルシンキング入門」を受講された方のステップアップに最適のコースです！★

■対象：業務経験数年の若手メンバー（情報システム部門・情報システム子会社、SIer等）

※本セミナーは、参加者の声を反映し、従来の「若手SEのためのロジカルシンキング～情報収集編～」の名称を改訂したものです。

■開催日時：

第5回	2011年9月　7日(水)　10:00-18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員：25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

（1）はじめに（Why）
　受講目的（必要性）の再確認
（2）問題発見における情報収集の重要性（What）
（3）情報収集・分析（How①顧客・事業を知る）
　外部情報の収集（ファイブフォース分析）
（4）情報収集・分析（How②課題を知る）
　主要課題の構造化（戦略マップ）
（5）情報収集・分析（How③課題の本質をする）
　課題の掘り下げ（MECE・ロジックツリー・質問力）
（6）まとめ・振り返り
　今後の目標とアクションプランの書き出し、受講後の現場実践のための動機付け

若手SEの業務課題の抽出力と分析力の向上を目指す

若手SEのためのロジカルシンキング～プロセス分析編～

講師：寺池　光弘 氏（株式会社シーエーシー　医薬システムユニット　シニアコンサルタント）

こんなことで悩んでいませんか？

- ●現状を整理することが苦手・・・全体感のある整理ができるようになりたい
- ●問題を深堀りすることが苦手・・・いろいろな問題を構造的に整理できるようになりたい
- ●改善提案を考えることが苦手・・・納得感のある解決策を提示できるようになりたい

本セミナーは、ビジネスの現場をひととおり経験された若手社員が、日常業務で求められる業務課題の抽出と分析について、一通りの知識と基礎的な実践力を身に着けるためのコースです。

プロセスモデリングによる問題の可視化→ロジックツリーによる問題の構造化→フレームワークを使った解決策の洗い出し→優先順位付け手法を使った解決策の決定・・・の各方法を伝授いたします。

受講者参加型（講師とのインタラクティブなやりとり、グループディスカッション、ロールプレイ）で進めますので、知識を実践的に習得できます

■対象：業務経験数年の若手メンバー（情報システム部門・情報システム子会社、SIer等）

※本セミナーは、参加者の声を反映し、従来の「若手SEのためのロジカルシンキング～問題発見編～」の名称を改訂したものです。

■開催日時：

第5回	2011年8月3日(水)　10:00-18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員：25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. **問題発見の基本手順を理解する（講義・グループ演習）**
   ・問題とは／・問題の種類／・基本手順
2. **問題の見つけ方を学ぶ（講義・グループ演習）**
   問題を発見するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践してみます。
   ・プロセスモデリング／・ロジックツリーを使ったSo-What分析。
3. **原因の見つけ方を学ぶ（講義・グループ演習）**
   根本原因を特定するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践してみます。・ロジックツリーを使ったWhy-So分析
4. **対策の見つけ方を学ぶ（講義・グループ演習）**
   解決策を立案し、選択するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践。
   ・フレームワーク思考／・優先順位付け手法・／ビジネスメールにおける表現の原則
5. **まとめ・振り返り（講義・グループ演習）**
   研修内容をふまえ、今後の目標とアクションプランを書き出し、グループでディスカッションを行い、受講後の現場実践のための動機付けを行います。

アウトソーシング・クラウドコンピューティング利用における
セキュリティ機能・セキュリティ管理要求仕様書の作成
～戦略的情報セキュリティ対策手法の構築演習～

情報システムの運用委託にあたって重要となるユーザおよびサービスプロバイダーへのセキュリティ機能要求仕様書(要求チェックリスト、契約)およびセキュリティ管理要求仕様書(要求チェックリスト、契約)の作成手法について、モデルシステムを対象にした演習を通して習得します。

講師:田渕　治樹氏

研修の期待効果:受講者が担当して運用委託する情報システムに対してセキュリティ機能要求仕様書と管理要求仕様書が作成できるようになる。本講座で作成した機能要求仕様書と管理要求仕様書は実際の局面で参考資料(テンプ　レート)として利用できます。

■開催日時:
2011年度は日程調整中

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)
JUAS会員・ITC:63,000円　一般:79,800円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

第1日 1月27日(木)
1. セキュリティ要求仕様書作成のための前提
2. セキュリティシステムの識別(ユーザおよびプロバイダー)
3. セキュリティシステムの情報セキュリティポリシー(ユーザおよびプロバイダー)
4. セキュリティシステムの要保護情報および関連の情報資産の識別(ユーザおよびプロバイダー)
5. 要保護情報および関連の情報資産に係るリスクの識別(ユーザおよびプロバイダー)

第2日 1月28日(金)
1. リスクの評価
2. リスク対策の策定
3. セキュリティ機能要求仕様書作成
4. セキュリティ管理要求仕様書作成

意味がわかる・必要事項への到達が早い・漏れがない
わかりやすい操作マニュアル・取扱説明書の作成ノウハウ

本講座は、マニュアル(操作マニュアル・取扱説明書)をどう作ったらよいのか、よく分からない方のためにノウハウを提供するものです。せっかくのマニュアルが十分利用されていないことがよくあります。使う側に立ったマニュアルがあまりないようです。どのように作ったら、利用者が頼りにしてくれるマニュアルになるのか、具体的に学んでいきます。

講師:　丸山　有彦氏(文書支援コンサルタント)

■開催日時:

第6回	2011年5月12日(木)10:00-17:00

■受講料(消費税、テキスト代込)
JUAS会員・ITC:31,500円　一般:39,900円

■定員　40名

■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

1. 総論
2. 情報集め・構成
3. 文章
4. 評価

〈講義項目例〉
・マニュアルの電子化に際して注意すべきこと
・マニュアル作成担当者と作成態勢・役割分担
・マニュアル作成計画の立て方
・情報集めをするときの原則となる考え方
・情報収集の仕組みをつくる－宿題方式
・項目をどうやって決めていくのか
・階層の少ない構成－富士山型
・操作マニュアル・取扱説明書の評価基準

仕様変更を最小限に抑えるヒアリング技術

講師：尾田　友志氏（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）

ヒアリングに際して、SEは「システムの利用者は自社の要望を正しく言うことができないものである」という心構えでのぞむことがよいという意見があります。「問題だ」と言っていることの多くは、その個人・部門で発生した事象・現象（いわゆる結果）であることが多いからです。仕様の変更は、事象・現象として出てきたことに対するシステム利用者の要望をそのまま鵜呑みにして、システムの設計に入ることから起きるのではないでしょうか。

ではどのような姿勢でヒアリングに入ったらよいでしょうか。ポイントは、あらかじめ仮説を立て、具体的な質問をすることによって、顧客の頭の中のイメージを引き出すことではないでしょうか。顧客の言うことを鵜呑みにせずに、将来を見据えた大目標を洗い出すこと、業務のあるべき姿を明らかにすることが、もう1つのポイントです。

このスキルは、大きく①上手な話し方をする、②予見・知見などを基に的確に質問する－という2つの側面があります。現場で差別化できるのは②です。そこで、業界の動向、予見したあるべき経営管理の在り方に基づく高度なヒアリングテクニックまで紹介いたします。ポイントは、①言葉の定義をもつこと、②予知・予見をすること、③相手の言葉を鵜呑みにしない－です。

本セミナーでは講師の話の内容だけではなく、講師の講義方法、身のこなしかたも1つの話し方もモデル例となります。

■開催日時：
2011年度開催は調整中

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　40名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1部 基礎技術編－基礎スキルと基礎テクニック

・クライアントが自分の要望を正確に言えないことには、理由がある
・話し方のための基礎技術－基本の基本を再確認する
・聴き上手は話し上手－積極的傾聴法を実践する
・相手の言い分を鵜呑みにしないワークデザインによる分析の重要性

第2部　応用技術編－業界動向・経営管理ポイントを基にした差別化・付加価値を付けるヒアリングとファシリテーション
・企業の業績の70%から80%は業界の業績である
・業務と経営管理のあるべき姿の全体像を描く
ユーザーと面談(初回ヒアリング)に入る前の仮説立案演習…ほか

BIツールを利用した経営管理指標
・資料の設定と失敗しない導入ステップ

講師：尾田　友志氏（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）

本セミナーはBI(Business Intelligence)の導入についての実務セミナーです。BIとは「業務システムで蓄積される企業内の膨大なデータを、蓄積・分析・加工して、企業の意思決定に活用しようとする手法」とされています。BIと類似している概念として「データマイニング」があります。データマイニングとは膨大なデータの中から宝の山を掘り出すことを意味していますが、非定型業務を指すことが多いようです。これに対してBIは定型的業務としてのデータ分析・活用といえます。BI導入のポイントは、どのような経営管理指標を設定するかにあるといえます。
本セミナーでは、BIツールの利用を前提に失敗しないBI導入のステップを明らかにしていきます。

■開催日時：

第1回	**2011年 5月27日（金）10:00-17:00**

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　40名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1　BIツールとは
2　BIツール導入のステップと基本知識
3　Step-1：自社のなりたい姿を明確にする
4　Step-2：重要経営管理指標を定義する
5　Step-3：指標の関連性を検討する
6　Step-4：定型的管理指標を整備する
7　Step-5：レポーティング

ヒューマンマネジメント

※セミナーの日程は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。

若手SEの方必見！
プロジェクトファシリテーション能力向上研修

- □ プロジェクト活動や会議におけるファシリテータの役割・効果を理解する
- □ ファシリテーションを実行するための3つの基本スキルを実践的に習得する

講師：足立　英治氏（株式会社フォース・トランキル 代表取締役）

プロジェクト活動の成否を大きく左右するのが、メンバー間のコミュニケーションと、プロジェクトチームのチーム力ですが多くのプロジェクト活動が、プロジェクトマネジャーのマネージメント能力・リーダシップへの過度の期待によって失敗しています。このような事態を未然に回避するには、メンバー間の相乗効果と、自律性を高めるチーム作りや、プロジェクトマネジャーとは別に、プロジェクトあるいはプロジェクト会議を進行するファシリテータを配置することが有効とされています。

本セミナーでは、プロジェクト活動、会議における、ファシリテータの役割を理解し、ルールの設定、板書の方法、議事録の記録方法、問題行動への対処、介入、などを具体的に学びます。

■開催日時：

第5回	2011年 8月26日（金）10:00-18:00
第6回	2011年12月 9日（金） 10:00-18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

項目	ポイントと進め方
オリエンテーション 強いチーム	コンセンサスゲームを使って、強いチームを創るためのファシリテータの役割を理解する。
ファシリテータの基本行動 プロジェクトキックオフ会議のプロセスデザイン	プロジェクト立上、計画実施、変更管理、評価の各ステップでのプロジェクトファシリテションを行う為のファシリテータの基本行動を双方向講義で明確にする。
実習の振返り プロセス観察と介入のスキル	ケースにより、プロジェクトキックオフ会議準備を通じて、プロセスデザインを実践的に習得する
実習の振り返り 相互啓発と介入のスキル	会議におけるファシリテーションの基本行動（質問のスキル、記録のスキル、介入のスキル）を、双方向講義とロールプレー実習で習得する。 会議の問題行動への対処をロールプレー演習で習得する

業務改革推進者に求められる
問題感知力・ファシリテーション能力向上研修

情報システム部門管理者、業務改革プロジェクトリーダーとして活躍されている方向け

講師：足立　英治氏　（株式会社フォース・トランキル 代表取締役）

情報システム部門管理者は、情報システム投資のROI（投資対効果）の最大化ならびに、経営者、投資家を含む利害関係者へのROIのアカウンタビリティー（説明責任）を果たすことを求められています。従来の「情報システム開発プロジェクトのマネジメント」に加え、「ユーザー部門との協働による業務改革推進による、システム化投資効果のモニタリングコントロール」が求められています。

本セミナーでは、業務改革プロジェクトを推進するにあたって、情報システム部門管理者に期待される役割を明確にするとともに、プロジェクト活動推進に必要となる問題感知力、ファシリテーション能力をケーススタディーによって、体験的に学習します。

■開催日時：

第5回	2011年　5月19日（木）・20日（金）
第6回	2011年10月20日（木）・21日（金）

※いずれも10:00-18:00

■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：63,000円　一般：79,800円

■定員　20名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

	セッション		セッション
第一日	ICTを活用した業務改革推進者に期待される役割の変化	第二日	業務改革推進者としてのファシリテーション行動の現状を振り返る
10:00	ICT投資の変化に伴って、IS部門の期待役割変化を受講者に動機づける	10:00	＜演習4＞
10:30	＜演習1＞	10:30	ミニケースにより、業務改革プロジェクトの立ち上げを体験する
12:00	ユーザーIS部門の状況を検討する	12:30	
13:00			
13:30	昼食	13:30	昼食
18:00	業務改革推進者に求められる問題感知力と問題解決力を振り返る ＜演習3＞ ケーススタディにより、業務改革ステージ別の問題感知力・問題解決力を振り返る	15:30	＜演習5＞
		18:00	業務改革推進者としてのファシリテーション行動の長所・短所を振り返る
			業務改革推進ビジョン ＜演習6＞ 受講者の所属するIS部門の組織ビジョンを検討する。自己ビジョン達成のためのアクションプラン・コミュニケーションプランを明確にする。 自己ビジョンのプレゼンテーションを行う

ビジネスリテラシーUP！

問題の本質を解き明かす「着想の技術」

■人間だれもが持っている連想力を活用し、問題を掘り下げる「タテの質問」×　問題の全体像を描く「ヨコの質問」で、解決できる原因と問題の全体構造を見える化します。

■効果的な問題解決への導き方を「感性やセンス」でなく、シンプルでロジカルな「スキル」として体得します。

講師：諏訪　良武氏（ワクコンサルティング（株）常務執行役員／エグゼクティブコンサルタント）

ブレストや会議で、「問題を挙げて」といわれても、「10個挙げるのも一苦労」「やたらと数はあがったけれど、どれも核心に触れていない・・・」。それらを才能やセンスがないからと、あきらめていませんか。 問題解決がうまくできないのは、中途半端なブレークダウンで「解決できる原因を抽出できていない」ことと、網羅的に原因を抽出していないため「問題の全体像を把握できていない」ことが理由です。

本研修では、情報やアイディアの数と質を生み出す力を「才能やセンス」として片付けるのではなく、シンプルかつロジカルな「スキル」として体得していただけます。

問題を掘り下げる「タテの質問」と、問題の全体像を描く「ヨコの質問」を組み合わせる手法や背景の考え方を演習を交えて体得します。

・問題を掘り下げて、解決できる原因を見つける方法をマスターします。
・連想力を活用して、問題の全体像を把握する方法をマスターします。

これからの情報システム部門にとって、業務改善の場面でも、新しい価値創造の場面でも、欠かせないビジネスリテラシーを身につけたい方は、必見です。

■対象：業務改善の場面でも、新しい価値創造の場面でも、欠かせないビジネスリテラシーを身につけたい情報システム部門の方

■開催日時：　2011年度新設コース！

2011年6月29日（水）　10：00-18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　25名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. IT部門にとって、今の時代を再認識する。
2. 着想の技術ステップ1：「問題の本質」を考える。
   - ・問題と目標との関係を考える。
   - ・問題と結果との関係を考える。
   - ・問題と原因との関係を考える。
3. 着想の技術ステップ2：問題を解決できる形に加工する。
   - ・解決できる原因をリストアップする。
   - ・原因を網羅的に把握する。
   - ・たった二つの質問で問題を分解する。
   - ・原因に優先順位をつける。
4. 着想の技術ステップ3：問題の全体像を把握する。
5. 解決策を作成する。
6. 解決策を実行する優先順位をつける。
7. 解決策を実行する。
8. 問題解決の演習
   - ・身近なテーマで実際にやってみる。

発想力を磨く！問題感知／課題発見力強化

- 潜在的な「問題」を「問題」として感知するアンテナの立て方を磨きます。
- 何をすべきかの本質を見極め「問題」を「課題」として整理するためのスキル習得を中心に、基礎力としての「発想力」を養います。
- 演習を通じて、問題発見・課題選定・課題解決のための目標設定までのプロセスを一通り体験することで、PDCAサイクルを実践・管理できるようになることを目指します。

講師：西嶋　陽一氏　（株式会社TRUソリューションズ　代表取締役）

業務を改善し、生産性を高めるには、
（1）顕在化した「問題」や潜在的な「問題」を感知し、整理。
（2）洗い出した「問題」の中から、意識化して「課題」として取り組むものを明確化。
（3）「課題」解決のために「どうすればよいのか」「関係者の役割ごとに何が必要なのか？」を検討し具体的な行動計画に落とし込む。
というプロセスを繰り返していくことが重要です。その各プロセスの礎となるのが「発想力（新しい視点で物事をとらえアイディアを生み出す力）」です。

本セミナーでは、グループ討議や講師によるアドバイスを交えながら、発想力を養い、課題発見力（何をすべきかの本質を見極める力）と課題解決力を磨きます。日々の業務を少しでも向上させたい方、発想力を向上させたい方、必見のコースです。

■対象：日々の業務改善をめざす全ての方

■開催日時：

第3回	2011年5月26日(木) 10：00-18：00
第4回	2011年8月24日(水) 10：00-18：00

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　20名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

（1）オリエンテーション／アイスブレーキング
（2）＜講義＞　問題意識と発想力リーダーの立場
（3）＜ケースによる討議＞問題」と「課題」との違いの見極め方の練習
（4）＜発表と検討＞　発表後に全員で評価・検討
（5）＜講義＞「発想力」が「課題発見」の源泉発想力を支える「7つのマインド」
（6）＜討議＞　懸案事項を「発想力」を活用し、可能な限り数多く抽出
（7）＜討議＞　分類とプライオリティー付け
（8）＜討議＞　解決策の模索
（9）＜討議＞　アクションプランの作成
（10）＜講義＞　今後の対応等、Q&A

挨拶・雑談と可視可ツール活用で劇的に変わるコミュニケーション活性法

- 日々チームマネジメントの問題に直面しているマネージャーの方必見！
- チーム内の「コミュニケーション力向上」に焦点を当て、生産性の高い開発現場を構築する方法を習得します
- 性格・行動特性可視可ツールを利用し、データを基にした的確なマネジメントの実例をふまえて学習を進めます
- メンタルヘルスや性格・行動特性を測定する、「簡単な診断テスト」体験つき

講師：野澤　孝一氏　（セールス科学研究所　所長）

「目に見えないモノ」のマネジメントは、至難の業です。ですから、コミュニケーション力も可視化され、オーバーラップやロスの箇所が特定できれば、プロジェクトの円滑な推進実現に多大な効果が見込めます。そこで近年、今まで感覚的にしか捉えることが出来なかった「メンバーのコミュニケーション特性」を可視化し、データに基づく科学的な指導をすることで、各メンバーのコミュニケーション特性が大きく伸びる例が、数多く報告されています。

本セミナーでは、若手技術者の現状や行動特性にマッチした研修を数多く行い、コミュニケーション特性を大きく向上させた実績を持つ講師が、そのノウハウを生かし、効果的な指導ポイントを伝授します。また、マネージャー自身のコミュニケーション力も更に磨いていただけます。プロジェクトマネージャーとして率先垂範する意味で、セミナー後半では主に体を動かしながらの演習を重点的に実施しますので、具体的に指導方法を体得していただけます。

■開催日時：2011年度は1回開催

第1回	2011年8月30日（火）　10：00～18：00

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC：31,500円　一般：39,900円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1．データを活用したPJメンバーの指導・育成
（1）ストレス可視化ツールによる自己診断
（2）診断結果をコミュニケーションツールに使う
（3）管理職自身のストレスマネジメント
（4）高ストレス値の部下に対する対処法
（5）項目別特性把握の方法と注意事項
（6）指導内容とデータ変化の相関関係
（7）データを基に、個別の最適指導を考える

2．若手IT技術者研修の現場から
（1）本人達も痛感している「コミュニケーション」の必要性
（2）人間関係構築のスタート「挨拶」ができない
（3）必要な事しか話さない「雑談」ができない
（4）指示命令の受け方・確認が下手で手戻り
（5）業務上必要な「報・連・相」が出来ない
（6）上司・年上・顧客との会話ができない
（7）技術者として、次のステージが見えてこない

3．PM・PLに必要なコミュニケーション指導力
（1）感覚的指導から、データによる具体的指導で説得力を
（2）すべては率先垂範。自分ができて、初めて指導できる
（3）指導のキーワードは、「自分の成長が実感できる」
（4）キーワードは「理論的納得」、後はしつこく定着指導

4．開発現場での場面別指導法（ロープレ主体）
（1）挨拶の徹底
（挨拶だけでチームが変わる）
（人間関係構築の重要な要素）
（2）雑談の効果
（モチベーションの原点を知る）
（相談しやすい雰囲気作り）

メンバーのやる気を高められる

現場実践型　マネージャー・リーダー養成実践講座

～最新モチベーションマネージメントの実際～

- 客観的にメンバーのモチベーション度分析ができます
- モチベーションは個人の属性ではなく、環境やリーダーシップによってコントロールできるという視点を理解できます
- モチベーションは、業績に直接影響を与える因子なので、効果が目に見えて出てきます

講師：石橋　正利氏　（株式会社総合教育研究所　代表取締役）

最近の野村総研が実施したモチベーションに関する調査によれば、現在の仕事に対して無気力を感じる人が75%にも達し、いま多くの組織で、社員のモチベーションの低下が深く進行しています。

さらに企業にとって、大きな問題は、3年前と比べて、成長した実感があるかないと答えている社員が42%を超えており、学習意欲が停滞していることです。今、「社員のモチベーションの再生」は経営にとって緊急の経営課題になっています。

本セミナーでは、周囲のモチベーションを高められるマネージャー・リーダーを養成するための考え方とスキル、仕組みの習得を目的としております。

■対象：初めて部下をもった方及び中堅リーダー・マネージャー

■開催日時：
第9回　2011年8月23日（火）
10：00-17：30

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. モチベーション危機の要因は何か
①間違った成果主義がもたらしたもの
②仕事観の意識の変化
2. 業績とモチベーションの関係性
①マズローの動機階層構造モデルとﾊｰｽﾊﾞｰｸﾞの動機づけ－衛生理論
②エンパワーメント環境と業績の相関関係
3. モチベーション・レベルを自己測定する
①モチベーション・レベルをチェックする
②モチベーション・レベルに沿った対応策
4. モチベーション・スタイル分析
①キャリア志向区分によるモチベーション・スタイル
②価値観区分によるモチベーション・スタイル
5. メンバーのモチベーションをいかに高めるか
①マクロ的視点から見たモチベーション・ファクターとは何か
②ミクロ的視点から見たモチベーション・ファクターとは何か
③ファクター別モチベーションアップの方法

システム開発混成プロジェクトチームの チームビルディングとマネジメント

～派遣・請負・社内担当者等人的資源の多様性下でのチーム運営のための知識と技術

講師：永谷　裕子氏
（PMI日本支部　プログラムディレクター
社団法人日本情報システム・ユーザー協会　ISC（情報システムコンサルタント）
PMI公認PMP（プロジェクトマネジメントプロフェショナル）

ITプロジェクトでは、自社の社員、派遣技術社員、請負ベンダー技術者、外部コンサルタントなど、所属などが違う人たちがチームを構成し、業務を推進することが一般的になっています。いろいろな価値観を持った人たちをまとめ、メンバー一人ひとりの仕事満足度を上げ、チームの力を最大化するには、そのリーダー・マネジャーには、どのようなスキルが必要になるのでしょうか。
本セミナーは、メンバーの価値観の多様性、世代や男女のギャップなどの混成チームにおけるチームづくりと効果的なコミュニケーションの方法について、そのコンピテンシー（competency　高成績者の行動特性）を学んでいきます。

■開催日時：第8回開催は日程調整中

第7回	2011年5月11日（水）　10:00-17:00

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　30名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. 多様化したメンバーとのコミュニケーションのための ルールとツール
2. リーダーに求められるスキル
3. 情報交換と討議
4. 多様化したメンバーのチームにおけるコンフリクト・ マネジメント
5. チームの人的多様性への対応法
6. チームの多様性の今後と課題

大手SI会社元ＳＥが語る「話しベタ」でもプロになれるノウハウ一挙大公開

話し方を磨く講座

～業務プレゼン・スピーチにおいて魅力的な話し手になるための一日集中セミナー

講師：町田　和隆氏（株式会社MOONコンサルティング代表取締役）

あなたは、人前での話し方で損をしていませんか？ 中身はとても良いはずなのに、声が通らず・聴き取りにくい、あるいは話の展開が支離滅裂で分かりにくい・意味不明に陥るなど。さらに厄介なのは、聴衆の前に立った途端、頭が真っ白になってしまう、いわゆる“あがり”に遭遇することです。

一般に、人前での話し方で失敗すると、その人の評価は下がってしまいます。特に、ビジネスの現場での失敗は、その人自身の出世を妨げ、企業業績までをも左右する重大な事件となってしまうかもしれません。せっかく話しをする機会に恵まれたにも関わらず、そのような結果となってしまうことは、とても残念なことです。

一方で、素晴らしい話し方をすることで、他人から賛同と共感を得て、昇進をつかみ、会社の発展に貢献する人もいます。 この両者の違いがどこにあるか、おわかりでしょうか？それは「あなたの話しを聴きたい」と周囲から要請され、本人がそれを承諾し、そして、晴れて人前に立つその日までの間に、いかに実践的なトレーニングをいかに正しい方法で、その本人が行ったかどうかにあります。

本セミナーを通じて、あなたも魅力的な話し手になるためのノウハウを学んでみませんか？

■開催日時：

第7回	2011年6月14日（火） 10:00-17:30

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　18名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. なぜ、「話し方」を磨くのか？
2. 「話し方」の4つの場面
3. 「話し方」の基本
4. 上手な話し手になるための心構え（メンタル）
5. 聴き手を惹き付ける伝え方・魅せ方（スキル）
6. 共感を誘うテーマと内容（ナレッジ）
7. トレーニング＆フィードバック

システム開発の現場における ストレスマネジメントとメンタルヘルス不全の予防策

～予防策・予兆把握・見える化から職場復帰までの実践的実務～

講師：小又　茂子氏（日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社）
前田　英行氏（日立公共システムエンジニアリング（株） S1事業部（統括部長））

近年システム開発の現場で”心の病”にかかる技術者が増えています。今までは見過ごされてくることが多かった問題ですが、最近は無理を続けてきたリーダー・マネジャーや有力メンバーが倒れるなどして、納期・品質・コストに大きな影響を与えることが判明してきました。この問題は企業の業績を左右する問題になってきたわけです。

そこで、「第一線の研究と実務の成果をもとにした対応実務」と「企業における取り組み事例を解説する」セミナーを企画いたしました。 プロジェクトマネジャーの使命は、「社員満足、顧客満足、会社満足のバランスが取れたプロジェクトの成功」に貢献することだと考えます。これを脅かすリスクの一つとして、プロジェクトの現場での社員の心の健康（メンタルヘルス）に関する問題があります。この問題を予防し、さらに社員が気持ちよく働き能力（脳力）を発揮するストレス・バランス・マネジメントを一緒に考えます。

■開催日時：

第3回	2011年10月14日（金）10:00-17:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　24名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1部　メンタルヘルス／ストレスマネジメントの基礎知識と企業としての取り組み事例
日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社　小又　茂子氏
1. 職場のメンタルヘルスとは
2. メンタルヘルスの基礎知識
3. ストレスマネジメント（管理者としてどう対応するか）
4. 復職支援
5. 技術者の元気を支えるメンタルヘルス対策－企業としての取り組み事例

第2部　走りながら（プロジェクトを推進しながら）行うメンタルヘルス対策の実務
日立公共システムエンジニアリング（株）S1事業部（統括部長）　前田　英行氏
1.プロジェクト現場でのメンタルヘルス問題
2.メンタルヘルス問題発症のモデルとストレスバランス
3.人間が感じる快・不快（ストレス）の仕組み
4.快・不快のバランス改善
5. ストレスバランスを改善するワークショップ

ファシリテーター養成講座
～プラス状況対応型リーダーシップ分析の活用～

- □ ファシリテーションを体系的に理解し、新しい知恵を生み出す「知の創造技術」を学びます。
- □ 価値観の異なったメンバー間の合意を形成するスキルを学びます。
- □ 会議ファシリテーターとして、会議の生産性を高めるスキルを学びます。
- □ ファシリテーターとして、状況に合わせたリーダーシップスタイル発揮の仕方を学びます。
- □ 自分も相手も勇気づけることができる方法を学びます。

講師：石橋　正利氏　（株式会社総合教育研究所　代表取締役）

会議やシステム開発現場で、メンバーの発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、参加者の合意を確認するために介入することにより、組織やメンバーの活性化、協働を促進させることや、プロジェクトの問題解決を図ることは、プロジェクトのマネージャーにとって必須の能力です。

この講座では、コミュニケーションスキル以外にも、プロセスデザイン、ミーティングや会議の進め方、状況に合わせたリーダーシップスタイルの展開方法など、ファシリテーターとしての役割を学びます。

■開催日時：

第2回	2011年6月21日（火）　10：00～17：00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員/ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　30名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

◆コミュニケーションを見える化し、そのプロジェクトの成果が最大となるように支援する

◆職場での会議やシステム開発現場を活性化させ
日々の体験から学べる組織をつくる

1. ファシリテーションの基本知識
2. 体験学習による問題解決モデル
3. ファシリテーションを活用した会議
4. リーダーシップ理論と勇気づけ理論

情報システムの開発におけるレビュー技法と評価の考え方
～各種レビューの技法の理解からレビューの評価まで～

講師：木村　利昭氏（株式会社日立製作所　プロジェクトマネジメント統括推進本部　担当部長）

計画段階や設計段階においては、レビュー実施による内容の確認および品質評価を行うことが通例になっていると思います。しかし、レビュー自体の品質については、様々な評価ファクタで見ることが必要なため、一般的な考え方として公開されている内容は多くありません。

本セミナーでは、これまで講師がPMOとして対応してきた経験を踏まえ、レビュー自体の品質向上の考え方・技法を説明していきます。併せて演習を交えることによって理解を深め、すぐに活用できるように研修してまいります。

■開催日時：第5回開催は日程調整中

第4回	2011年4月19日（火）　10:00–18:00

■受講料（消費税、テキスト代込）

JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　30名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1. レビューの種類とレビュー計画作成
   - 1．1　レビューとは
   - 1．2　レビューの種類
   - 1．3　レビュー計画
     - （1）レビュー計画にもマネジメントの観点が必要（事例を含め説明）
     - （2）グループテクニックの説明とレビュー時の活用方法
     - （3）演習―レビュー計画（レビュー評価を除く）作成
2. レビュー評価
   - （1）レビューの評価の考え方　（講師の経験から）
   - （2）レビュー実施と評価の事例説明
   - （3）演習―レビュー評価の実施計画の作成
   - （4）まとめ

ソフトウェアの品質評価の考え方・勘所と評価

講師：木村　利昭氏（株式会社日立製作所　プロジェクトマネジメント統括推進本部　担当部長）

ソフトウェアの品質というと、我々はすぐに「ソフトウェアに欠陥（バグ）がないこと」と考えます。それは確かに重要な一面ですが、しかし良い品質のソフトウェアは「欠陥を取り除くこと」だけで実現できるものではありません。もっと幅の広い、多様な要素がソフトウェアの品質に関わりを持ち、それを実現するために様々な活動が必要になります。

本セミナーでは一般的な「品質」の定義から始め、ソフトウェアの品質とは何か、それを向上させるためにどういう方法があるのかについて議論した後、その考え方を適用しての組織全体での対応方法と、個々のソフトウェア開発プロジェクトでの品質向上のための考え方や方法をご紹介します。

■開催日時：
第5回開催は日程調整中

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　30名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1部　ソフトウェアの品質管理の考え方
1　ソフトウェア品質・品質管理とは
2　ソフトウェアの品質向上のための手法
3　ソフトウェアの品質管理の全体計画と品質計画書（テスト計画）の作成

第2部　ソフトウェアの品質管理と評価
1　ソフトウェア品質を見ていく視点
2　チェックリスト(テストケースリスト)作成の考え方
3　ソフトウェア品質評価の考え方
4　プログラム改修時の品質評価
5　総合的な品質評価の考え方と留意点
6. まとめ

プロジェクトの品質管理計画の考え方と作成のための勘所
-講義と演習によって理解を確実にする-

講師：木村　利昭氏（株式会社日立製作所　プロジェクトマネジメント統括推進本部　担当部長）

プロジェクトは「唯一無二」という特性を持っています。本来、プロジェクト管理計画書は、その特性を重要な観点として整備していくことが必要ですが、必ずしもそれは実現できていません。それは過去のプロジェクトの実績を参考にして作成したり、企業・組織における規則やテンプレートなどを参考にして作成していることが一因ではないかと考えられます。なかでも「品質管理」については、プロジェクト独自では考えにくい観点が多いため、その傾向が強くなっています。

また、ソフトウェアの品質というと、我々はすぐに「ソフトウェアに欠陥（バグ）がないこと」と考えます。それは確かに重要な一面ですが、しかし、良い品質のソフトウェアは「欠陥を取り除くこと」だけで実現できるものではありません。もっと幅の広い、いろいろな要素がソフトウェアの品質に関わりを持ち、それを実現するためにいろいろな活動が必要になります。

本セミナーでは、プロジェクトの特性と品質管理計画の関係について説明を行い、品質管理計画に必要な要素と参考になる勘所・ポイントを事例を挙げながら説明していきます。さらには、演習を交えながら、その知識を広げ、確実なものにしてまいります。

■開催日時：

第2回	**2011年7月26日（火）　10:00-18:00**

■受講料（消費税、テキスト代込）
JUAS会員・/ITC ：31,500円　一般39,900円

■定員　30名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

1　プロジェクト特性とプロジェクト管理計画
①プロジェクト特性とプロジェクト管理計画の関連
②品質管理計画におけるプロジェクト特性の考え方
2　品質管理計画の考え方
①品質管理計画はプロジェクト開始時稼動させる
②規則・ルール化や判定・評価は、品質管理計画の末端である
3　品質管理計画の要素
①プロジェクトの目的
②プロセス品質
③プロダクト品質
④評価とフィードバック
4　品質管理計画作成の勘所
①品質管理計画作成の勘所（事例と考え方）
②品質管理計画書作成（演習）

中堅向け勉強会

中堅SE勉強会

**業種・業態を超えた人的交流と相互研鑽を通して、自身と他者を理解、
目標実現のために、“他己活用”ができる人材を育成します！**

コーディネータ：岩田　好廣氏（アイエックス・ナレッジ株式会社　品質ソリューション事業部　事業部長 ）

ビジネスのグローバル化が進み、ITがコモディティ化している現在、企業の明日を担う中堅人材像も変化しています。これからのSEには、ダイナミックな社会環境の変化に対応するために、自身の力だけでなく、社内外の他社の力を活用し（＝他己活用）、全体をコーディネートし、目標を実現していくことが求められています。このような力をつけるには、異文化（他の会社、他業種、他の仕事）にふれ、他の文化や考え方を知り、それに対して、自分の意見を確立することが必要となります。

本セミナーでは、モデル企業を題材とし、PDCAサイクルにそったグループ討議・グループ演習を実施していきます。共通のテーマに対して、異業種間で討議をすることにより、広い視野での物の考え方を身につけていくことを目的としています。

企業の財産である人材(財)育成を図るために、業種・業態を超えた人的交流と相互研鑽の場として、企業の情報システム部門および情報サービス会社の中堅社員を中心に幅広い方々を対象に98年より実施し、好評を頂いているコースです。

■対象：経験年数5～6年の中堅社員、経営企画部門、情報化推進部門、情報システム部門、管理部門など

■開催日時と内容　※各回ごとに開催時間が異なりますのでご注意ください

	開催日	内容
1	5月19日（木） 17:30-20:30（JUAS）	**企業をとりまく環境の変化と企業が求める人材像** キーワード：「問題感知」「ﾌﾞﾚｰﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞ」「KJ法」「ワークデザイン」
2	6月9日（木） 15:00-20:30（JUAS）	**企業経営の変化とチーム力の構築** キーワード：「傾聴」「コーチング」「モチベーション」「チーム力」
3	6月24日（金） 17:30-20:30（JUAS）	**中堅SEに必要な能力** キーワード：「コミュニケーション力」「他己活用力」「文章力」「プレゼンテーション」「ワークデザイン」
4	7月7日（木） 15:00-20:30（JUAS）	**企業経営の変化と新たなビジネス構築** キーワード：「BSC」「SWOT分析」「プロジェクトマネジメント」
5	7月22日（金） -7月23日（土） 合宿（場所未定）	**ビジネス実現のための情報システム構築と評価 ／求められる中堅SE像** キーワード：「品質改善」「ハーマンモデル」「EVMS」

■受講料（全5回）
JUAS会員・ITC：78,750円
一般：99,750円

**※消費税、テキスト代、
食事代、合宿代を含みます**

■定員　20名

問題感知力を磨くための“問題解決手法勉強会”

□中堅社員に必要な、問題・情報分析を行い、企画提案につなげるための手法を、一挙に体系的に勉強できる。
□単なる手法の勉強会ではありません。「どう活用し、考え抜くか」をモデル事業計画作成を通して体感。
□参加型演習を通して、チームワークの重要性とリーダーシップ力を身に付ける。

講師：小林　義人氏（エム・スクエア一株式会社　代表取締役）

企業を取り巻く環境が急激に変化する中で、中堅人材には「問題感知し、自ら企画・実行する力」が求められています。
本セミナーでは、各種の問題解決手法を体系的に学びながら、学んだ手法を活用し、モデル事業化を企画・提案するｸﾞﾙｰﾌﾟ演習を実施します。単なる手法の勉強会だけでなく、「どう活用し、考えぬくか」をモデル事業計画作成を通して体験することで、各種手法の考え方やポイントを改めてきっちり学び、実践し、更に問題感知力、提案力の強化につなげていきます。

■対象：問題解決を体系的に学びたい方
（経営企画部門、情報化推進部門、情報システム部門、営業部門、管理部門など、部門を問わずご参加ください）

■開催スケジュール：2011年度は2012年2月開催予定

回・時間帯	2011年度開催日	会場	テーマ
第1回　10:00-18:00	（2012年2月開催予定） 調整中	JUAS研修室	情報を読み、問題を発見する手法を学び、問題感知力を向上させる
第2回　16:00-20:00		JUAS研修室	原因を構造的に分析・理解し、解決へ導く手法を学ぶ
第3回　16:00-20:00		JUAS研修室	問題状況を解消する新たな解決策を発想し、構想を具体化するﾃﾞｻﾞｲﾝ力を強化する
第4回　16:00-20:00		JUAS研修室	事業化企画・提案の基本手法を学び、問題解決力につなげる
第5回 10:00-翌日12:00		外部宿泊施設	解決へ導く事業化を構想・企画・提案し、問題解決力を向上させる

題材として、「音楽・動画コンテンツ産業をとりまく事業環境の変化とそれに対する企画提案」を検討していただきます（予定）

■受講料　（5日間・消費税、食事・合宿費込）

JUAS会員・ITC：78,750円　　一般：99,750円

■定員　24名

中堅リーダー（改革推進者）育成勉強会

□実存する企業経営者をお招きし、経営の視点を理解し、業務改善・情報化戦略方法を学ぶ
□中堅社員の異業種交流の場。他業界の同世代の方と話をすることで、他業界を知り、自分を知る
□プロセス評価、各回検討の進め方も、毎回チェック。プロジェクトマネジメント力向上に繋がる！

コーディネータ：木村　玲美氏（浜松総務部有限会社　代表取締役　ITコーディネータ／産業カウンセラー）
ゲスト経営者：未定

本セミナーは、実際に存在する企業の経営層の方をお招きし、現状の経営戦略をご紹介いただいた上で、その企業の業務改革・情報化戦略をどうするべきか検討し、経営をバーチャル体験していただく勉強会です。
実在の企業経営者をお越しいただき、その企業の情報をもとに検討を行うことで、経営者の視点を理解し、企業経営の全体最適を体感し、視野を広げることこそ、問題感知力・提案力の強化に繋げます。
また、業務改革・情報化戦略立案等のプロセスについても、説明→検討→事後確認という流れですすめていきます。そうすることで、実際の企業でのプロジェクトを行う際のマネジメント力、コミュニケーション力を養います。

■対象：リーダーとして期待されている中堅の方（経営企画部門、情報化推進部門、情報システム部門、管理部門など）

■開催日時と内容

	開催日	内容
1	**9月14日(水)** **17:30-20:30（JUAS）**	「問題感知力向上へのオリエンテーション」 「経営戦略・IT経営の理解①（ミニケース）」
2	**9月21日(水)** **17:30-20:30（JUAS）**	「支援型リーダーシップ」 「経営戦略・IT経営の理解②（成功事例）」
3	**10月5日(水)** **17:30-20:30（JUAS）**	「経営戦略・IT経営の理解③（ゲスト企業）」 ★企業経営者ご参加
4	**10月18日(火)** **17:30-20:30（JUAS）**	「経営戦略・IT経営の理解④（ゲスト企業）」
5	**10月28日(金)-29日(土)** **合宿（場所未定）**	「経営者への提案」「相互フィードバック」 「自分戦略」★企業経営者ご参加

■受講料
会員・ITC：78,750円
一般：99,750円
※消費税、テキスト代、食事代、合宿代を含みます

■定員　24名

2011年度開催：1回となります

雌伏の今こそIT構想・企画力がビジネスイノベーションを促す！

システム化企画力・構想力　勉強会

□提案能力、企画能力が確実に一歩進むことを目指します。
□新ビジネスモデルや業務改革のヒントが得られる。
□経営視点でシステム化の投資対効果が説明できるようになる。
□ Top向けシステム化計画の実行計画概要図（1-2枚もの）を作成できるようになる。

講師：寺池　光弘氏（株式会社シーエーシー　医薬システムユニット　シニアコンサルタント）
足立　英治氏（株式会社フォース・トランキル 代表取締役）

企業が環境変化に対応しイノベーションを実現するためには、①どのような視点で改善改革のアイデアを生み出せばよいのか（問題感知力）②改善改革の実行計画をどのように作成すれば良いのか（問題解決力）③評価はどのように行えばよいのか（問題評価力）、にもとづいて改善改革案を創造し着実な実行計画を作成することが重要です。

本セミナーでは、ビジネスモデルの視点から業務・システムを見直し、最適なシステム化を推進するための「様々な思考法」「システム化計画フェーズの進め方」「勘所」を学びます。 講義中心ではなく、事前演習・受講者参加型のグループディスカッション・振り返りを数多く取り入れ、受講者が積極的かつ実践的に取り組めるプログラムです。

●JUASならではの特徴
・「システム化計画フェーズの進め方」は、UISSの「IS戦略策定」「IS企画」に準拠
・「思考法」や「勘所」では、「システムリファレンスマニュアル」「IT投資価値評価に関する調査研究」「障害対策分析」などJUASの様々な研究会のノウハウを活用してまいります。

2011年度開催：1回となります

■開催日と内容

	開催日	内容
1	**2011年11月2日（水）**	新ビジネスモデルの企画（事業戦略の理解／商品・サービスの差別化／イノベーション事例研究）
2	**2011年11月9日（水）**	新業務プロセスの企画（課題の洗い出し／漸進的改革シナリオの検討／イノベーション事例研究）
3	**2011年11月16日（水）**	新システムの企画（基本要件の整理／システム方式の策定／基本要件の実現性の検討／イノベーション事例研究）
4	**2011年11月28日（月）**	システム化計画書の策定（全体スケジュールの作成／推進体制の構築／費用とシステム化効果の予測／上位計画との整合性検証／リスク分析／システム化計画の文書化／承認）

■時間
いずれも**10：00-18：00**

■会場　JUAS会議室
（東京・日本橋堀留町）

■受講料
会員／ITC：78,750**円**
一般：99,750**円**
※消費税、テキスト代　を含みます

■定員　25名

自社課題解決型ワークショップ

～参加者自身の個別課題を徹底分析～

個別課題達成への戦略シナリオと実行計画策定WS

□参加者自身のオリジナル課題（固有テーマ）について検討し、
□各自の目的に応じたオリジナル戦略マップとアクションプランまでを作成します。
□ 「講師集合コンサル＋参加者相互検討」で効果を高めます。

講師：西嶋　陽一氏（株式会社TRUソリューションズ　代表取締役）

本セミナーでは、参加者がお持ちの課題を、バランス・スコアカード(BSC)の手法を基盤とした戦略計画策定手順に当てはめていき個別の課題解決のための実行計画を策定します。的確なアドバイスを得ながら、現場ですぐに活用できる成果を持ち帰っていただけるワークショップです。

◆◇主な成果物

①環境分析表、 ②SWOT分析表、 ③戦略定義書　④戦略マップ（重要成功要因、因果関係） ⑤スコアカード（管理指標、期間目標）⑥アクションプラン（詳細実施計画）⑦レビュー計画書（体制、方法）

◆◇「講師集合コンサル＋参加者相互検討」で効果アップ

＜参加者相互検討では…＞・会社や業界の壁を越えた既成概念に捉われない客観的な高い気づきを得られます。／・他者との意見交換を通じて、アドバイス力や質問力を鍛えます。

＜講師集合コンサルでは…＞・オリジナルテーマに対し、経験豊富なプロの目線でアドバイスが受けられます。少人数制のため、 合同会場内でのアドバイスとは思えない効果的なアドバイスを得られます。

■開催日と内容

	開催日	内容
1	**2011年10月20日（木）**	全体ステップの進め方とBSCコンセプトの説明（講義） --（宿題）①環境分析表作成、②SWOT分析表作成、②戦略定義書作成
2	**2011年11月1日（火）**	宿題最終化＜WS＞／環境分析＆SWOT分析／ビジョンと戦略の検討＜WS＞ --（宿題）④重要成功要因抽出～戦略マップ作成
3	**2011年11月11日（金）**	宿題最終化＜WS＞／戦略マップ（4つの視点＋重要成功要因）検討＜WS＞ --（宿題）⑤スコアカード作成（管理指標決定と目標値設定）
4	**2011年11月30日（水）**	宿題最終化＜WS＞／スコアカード（管理指標＋目標値）検討＜WS＞ --（宿題）⑥アクションプラン作成、⑦レビュー計画書作成
5	**2011年12月8日（木）**	フォローアップ研修＜WS＞・実施後の疑問や問題に対するQ&A ・実施状況に応じた追加アドバイス

2011年度開催：1回となります

■時間
いずれも14：00-18：00

■会場　JUAS会議室
（東京・日本橋堀留町）

■受講料
一般：150,000円/社（1社2名まで）
会員：120,000円/社（1社2名まで）
※消費税、テキスト代　を含みます

■定員　5社10名

	事業戦略策定評価	IS企画・評価	IS導入・保守
ストラテジ	IT投資対効果とその評価方法実践モデル構築体験（2日） 目標把握と行動計画立案のための 俯瞰力トレーニングのイロハ IFAS グループ会社経営（１日）		プロジェクトを成功に導くための見積もり教室（1日）
マネジメント	プロジェクトマネジメント 統括プロマネがやるべき、組織戦略の具体的な実現方法(１ 経営データ分析・活用の切り口（1日） 国際会計基準（IFRS）下での経営管理資料の設計・修正 業務コスト算出と見える化に優れた	プロジェクトマネジメント即戦力アップ(２ リスクマネジメント（2日） 品質マネジメント（1日） 見積・提供（2日） パフォーマンス分析（1日） マネジメントスタイル革新（1日間） 調達マネジメント（1日） 挨拶・雑談と可視可ツール活用で劇的に変わるコミュニケーション活性法 OJTとメンバの目標達成問題解決支援（1日） プロジェクトの品質管理 ファンクション・ポイント法による見積 要求分析（2日間）コース－プロジェクトを成功させる極意 クラウド時代のプロジェクトマネジメントの変化と留意点	清水吉男シリーズ 清水吉男の保守改良（派生開発）にマッチした仕様変更管理と書き方講座（1日） 清水義男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座（1日）
テクノロジー		画面設計とユーザビリティ評価（1日と2日） 要求定義工程におけるヒアリング技術（1日） ソフトウェア文章化作法　リーダー向け（2日） オフショア開発向け日本語仕様書作成（1日） ファイリング研究（1日） レビュー品質の向上（1日）	
ヒューマン	業務改革推進者に求められる問題感知・ ファシリテーション向上（2日） プレゼンテーション ファシリテーション講座（2日）	ソフトウェア文章化作法　初級　若手向け（2日） プロジェクトファシリテーション向上（1日） 最強チームの作り方（1日） 挨拶・雑談と可視可ツール活用で 劇的に変わるコミュニケーション活性法 メンバーのやるきを高められる現場実践型マネジャー・リー ストレスマネジメントとメンタルヘルス不全の予防策(1日） OJTとメンバへの目標達成問題解決支援（1日） 話し方を磨く講座（1日）	問題発見・解決技法応用（変革課題の設定・ 立案プロセスの習得）（2日） PMのためのコーチング　（2日） （参加型ワークショップでコーチングを体得） 問題発見・解決技法応用 （変革課題の設定・立案プロセスの習得） システム開発混成チームの運営とスキル（1日）

	IS運用	IS活用
ストラテジ	システム運用サービス・運用設計の体系化と 業務改革への実践方策（1日） 事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策（1日）	
マネジメント	運用の実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座 ITサービス向上のためのシステム運用業務改善	
テクノロジー	オフショア開発向け日本語仕様書作成（1日） マニュアル作成セミナー（1日）	
ヒューマン		

	IT基盤構築・維持・管理	セキュリティ	システム監査
ストラテジ		セキュリティ要求仕様の作成方法（2日）	
マネジメント			
テクノロジー	ネットワーク設計マスター（1日） ネットワークトラブルシューティング（1日）		
ヒューマン	業務改革推進者に求められる問題感知・ ファシリテーション向上（2日）		

	共通業務		
	資産管理（人材以外）	人的資源管理	BCP・コンプライアンス
ストラテジ			
マネジメント			
テクノロジー			
ヒューマン			

	共通業務 契約管理	入門講座	合宿（宿泊を伴う）または4日以上のセミナ
ストラテジ	派遣法・職安法の実務ポイントと 開発委託契約のPDCAとリスク管理（1日） SWに関する著作権の実務知識とリスク回避策（●日） 常駐請負・派遣についてのリスクマネジメントと対応のポ		イノベーション経営カレッジ（9日間） 個別課題達成への 戦略シナリオと実行計画策定WS（4日）
マネジメント	ITモデル取引・契約書付属ドキュメントの活用（1日） 事例にみるIT紛争防止（1日）		中堅リーダー育成勉強会（5日） 問題解決手法勉強会（5日） 中堅SE勉強会（5日） システム化企画力・構想力　勉強会（4日）
テクノロジー		ソフトウェア文章作法　　若手向け	
ヒューマン		若手向けロジカルシンキング 入門編（1日） プロセス分析編（1日） システム企画編（1日） 新入社員研修（5日～）	

	事例セミナー（2010年度実績）	アカデミー（2010年度実績）	オーダー（2010年度までの実績）
ストラテジ	情報システム開発における「上流工程」改革へのガイド 企業の情報システム運用改革のガイド（1日） 企業の情報システム保守改革のガイド-（1日） 企業の情報システム開発におけるレビュー改革へのガイド（1日） グローバルＩＴ戦略成功への道（事例：１日）	障害を発生させない、被害を拡大させない！ 情報システムの信頼性向上に効く勘どころ（2時間） ～イメージアップ時代から死活問題時代へ～ コストとCO2の削減のためのIT部門のミッション（2時間） JUAS研究活動　成果報告会（半日）	IT投資対効果とその評価方法実践モデル構築体験（2日） IT投資とITコストマネジメント（半日～1日） 情報企画研修（2～5日） マーケティング入門（2日） 事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策（1日） システム運用サービス・運用設計の体系化と業務改革への実践方策（1日） 派遣法・職安法の実務ポイントと 開発委託契約のPDCAとリスク管理（1日）
マネジメント		内部統制、企業統治から　全社的リスクマネジメント（ERM）へ～全社ITリスクの初期的な識別手法　～（2時間） 中国古典から学ぶプロジェクト・マネジメントスキルアップの秘訣 JUAS研究活動　成果報告会（半日） 障害を発生させない、被害を拡大させない！ 情報システムの信頼性向上に効く勘どころ（2時間） マニュアルライフサイクルから考える使われ続けるマニュアル作りのポイント（2時間） “顧客視点”で経営を見直し、一年後に“成果”を出す！ 押さえておきたいIT法務の基礎（2時間）	プロジェクトマネジメント プロジェクトマネジメント基礎（1日） プロジェクト計画作成・WBS（1～2日） 見積と見積評価（2日） プロジェクトマネジメント即戦力アップ(2 リスクマネジメント（開発編）（2日） リスクマネジメント（運用・保守編）（2 パフォーマンス分析（1日） システム開発・保守・運用指標と OJTとメンバの目標達成問題解決支援（1日） 部下指導・コーチング・メンタリング（1日間） 現場実践型マネージャ・リーダー養成（1日間） 本当に使える見積技法(1日) サービスサイエンス(1日)
テクノロジ		システム生産性の追及(2時間) ～保守・運用の効率性も意識した構築が差別化経営を実現する～ 2大調査報告会 ～IT動向調査＆ソフトウェアメトリックス報告会(半日) JUAS研究活動　成果報告会（半日）	要求定義工程におけるヒアリング技術（2日） ヒアリング・要求定義から 情報化リーダーのための業務要求定義力強化（2-3日） 問題感知力と解決力向上のための問題解決手法(1日) 既存システムの評価と改善提案(2日) システム開発契約の基礎知識と留意点（営業、SE向け） プロジェクトマネジメントの視点、メトリクスの利用 利害関係者とのコミュニケーションに重点を置いた
ヒューマン		効果実感！ＢＰＭ活用（2時間） 経営視点でのIT企画に必要なセンスを“見える化”してスキルとして育成する方法（2時間） JUAS研究活動　成果報告会（半日） 障害を発生させない、被害を拡大させない！ 情報システムの信頼性向上に効く勘どころ（2時間）	ソフトウェア文章化作法　新人向け（2-4日） ソフトウェア文章化作法　担当者向け（2日） ソフトウェア文章化作法　指導法（2日） 部下指導・コーチング・メンタリング 交渉力・折衝力強化(2日) 利害関係者とのコミュニケーションに重点を置いた

上記は全て2010年度の実績であり、2011年度の開催は未定です。

個別企業向けセミナー

http://www.juas.or.jp/seminar-event/order-made/index.html

オーダーメイド研修（企業内研修）

JUASでは、メールやホームページ、パンフレット等でご案内の「オープンセミナー」に加え、
貴社のご要望に合わせたオリジナル研修として「オーダーメイド研修」をご提供しております。

JUAS seminar

JUASオーダーメイド研修

特徴・対象者

◆経営と情報をキーワードに、様々なご受講対象に合わせたコースや教材を構成いたします

◆講義、ケーススタディ、ケースメソッド、ワークショップ等、想定する成果を得るために、最適な方式をご提案します

◆貴社会議室、弊協会研修室、外部会議室など、開催場所はご相談させていただきます

◆これまでご活用いただいた企業様からは、内容、講師両面において　非常に高いご評価を賜っております

◆個別講座のアレンジだけでなく、人材育成計画策定や研修体系整備の支援もお手伝いします

◆15名を超えるご受講対象者がいらっしゃれば、内容面でも、コスト面　でも、効果的かつ効率的です

受講対象者（実績）

- ユーザー企業 情報システム部門
- ユーザー企業 業務部門IT推進者
- 情報グループ会社
- SIベンダー
- 新入社員
- 3年目
- 管理職
- 転換者

JUAS seminar

オーダーメイド研修　実施の流れ

初回お打合せ	お客様の経営課題、人材育成方針、ニーズをお伺いし 必要なスキル、研修目的を共有化します
ご提案	具体的な研修の内容をご提案します お見積りを提出します
お申込み	実施プログラムの調整、実施日程、会場確定後 お申込みいただきます
研修実施	研修運営と実施支援を行います
研修後 お打合せ	研修後のアンケート、研修成果からアフターフォローを行うとともに,研修内容の定着化、次のステップのための取り組みをご提案します

JUASオーダーメイド研修

研修分野（実績）

プロジェクトマネジメント

これからプロジェクトリーダーになる方から、
複数のプロジェクトを統括する方まで、
階層別、役割別に研修コースをご用意しております

要求定義・要件定義

ユーザー企業の情報システム部門、
業務部門のIT推進者向けに、
課題解決、問題発見のスキル向上、
要求分析の考え方、要件定義書の記述方法
オーダー研修ならではの、
自社の課題を要件定義に書き起こす実践
など、考え方、技法、実践をご提案します

ソフトウェア文章化作法

オープン研修の人気講座「ソフトウェア文章化作法」
は、オーダーメイド研修でも多数実績あり、
ご好評いただいております
新人研修・3年目研修・指導者向け研修・部長研修
と役割別にコーディネートします

ヒューマンマネジメント
・ヒューマンスキル

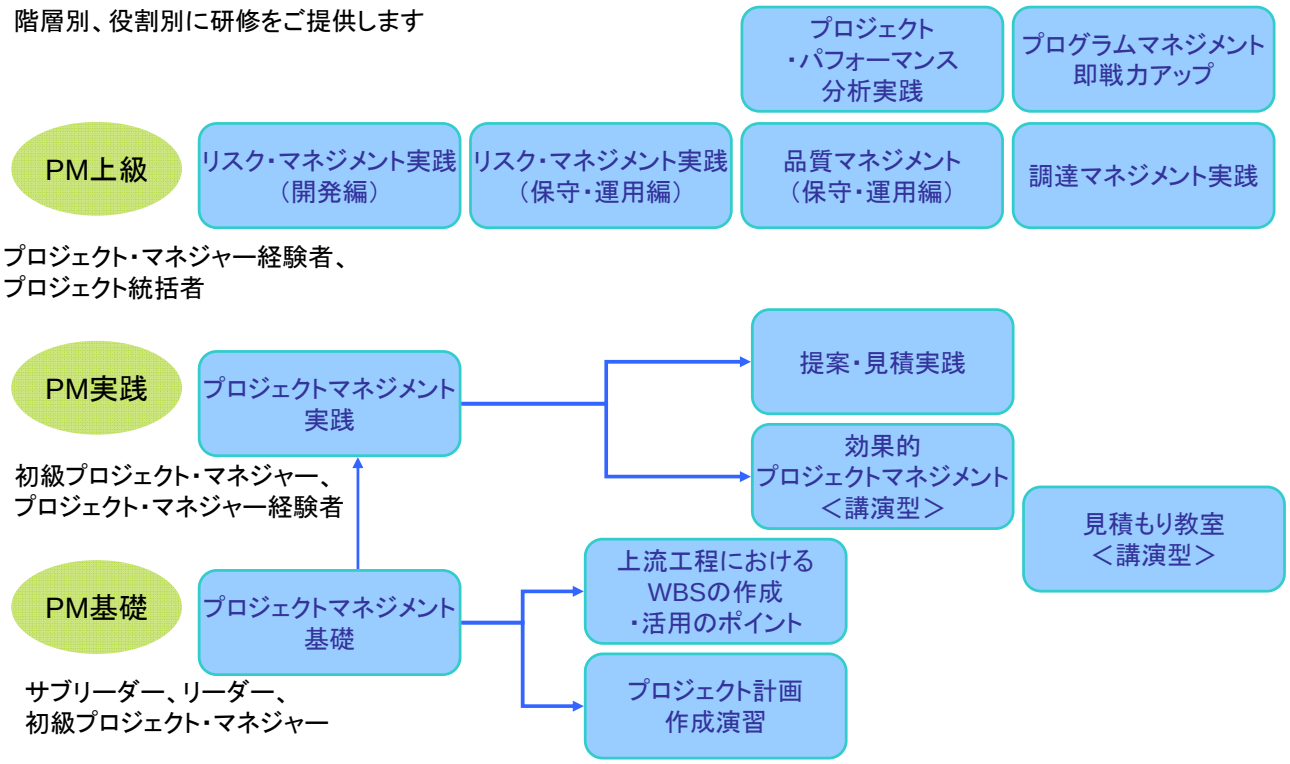
コーチング、メンタリング、ファシリテーション
モチベーションマネジメント、ヒアリング技術など
チームビルディング、組織活性化の基盤となる
スキルを使うことができるように構成し、ご提案します

ＩＴ法務／運用サービス設計／サービスサイエンス／IT投資対効果と評価／システムトラブル対策
など　上記以外も実績多数　是非ご相談ください

JUASオーダーメイド研修

プロジェクトマネジメント研修　メニュー

階層別、役割別に研修をご提供します



◆JUASオープン研修では実施していない、プロジェクトマネジメント基礎研修もお手伝いしております

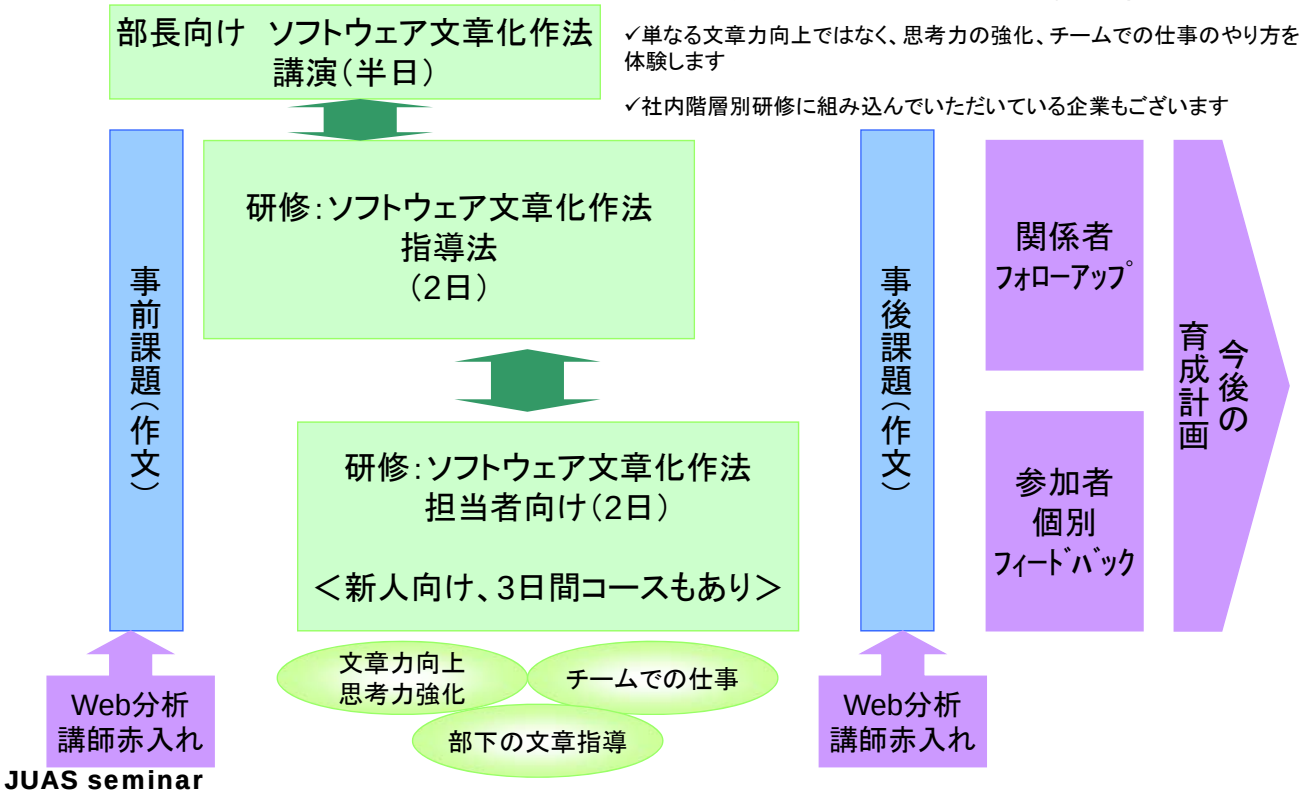
JUASオーダーメイド研修

ソフトウェア文章化作法　研修メニュー

✓オープン研修の人気講座「ソフトウェア文章化作法」。
企業内での実施により、学んだことの活用、定着をより強固に。

✓単なる文章力向上ではなく、思考力の強化、チームでの仕事のやり方を体験します

✓社内階層別研修に組み込んでいただいている企業もございます



JUAS「ソフトウェア文章化作法」研修ご案内

JUASセミナー、企業様向け研修で、これまで4000人以上の方が受講され、好評をいただいているJUASオリジナルのコースです。

開催実績

✓JUASオープン研修において、基礎コース22回、指導者向けコース15回（2011.1現在）

✓企業様向け研修において、ユーザー企業情報システム部門、情報システム子会社、SI企業など、30社/40回以上の開催実績（2011.1現在）

- 情報システム構築において、無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。しかし、日本語には、主語が明確でなくても何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表すあいまいな表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文章においては、具体性がなくあいまいな表現がトラブルの元になります。
- JUASではソフトウェア文章における日本語のあり方について、約2年間議論を重ねる会を設け、その成果として『SEを極める仕事に役立つ文章作成術』(日経コンピュータ出版　(社)日本情報システム・ユーザー協会／福田修　編)を出版いたしました。
- 「ソフトウェア文章化作法」講座は、この書籍の内容を教材に用い、演習を通して体験しながらソフトウェア文章作成時における日本語の記述方法を習得していきます。また、演習を通して、グループでの仕事の進め方やリーダーシップ、プロジェクトマネジメントについても実感として身に着けることができます。講師の日本語・ソフトウェア文章における知見や考え方も伝授します。
- さらに「指導法」コースでは、部下の指導をされる方のために、提出された文章を正しく修正・改善するための指導法も習得していただきます。

『SEを極める仕事に役立つ
文章作成術』
(社)日本情報システム・ユーザー協会
／福田修　編
日経コンピュータ出版

JUASオーダーメイド研修
交渉力・折衝力強化

プロジェクトを推進する中で、お客様、協力会社、社内の利害関係者との合意形成を適正に行って、チーム活動の進行と成果を最適化する交渉、折衝の場面が多く存在します。

本研修では、利害関係者との合意形成を果たすために、どのような整理、準備をすべきか、合意形成プロセスにおいて交渉・折衝力をより強化するためのコミュニケーション行動とは何かを、受講者が遭遇するビジネスシーンをシュミレーションし、実践的に理解、習得します。受講者の従来の交渉・折衝スタイルを見直しより強化するためのヒントをつかませる研修です。

【研修の目的】

(1)プロジェクト利害関係者(お客様、協力会社、社内)と、win-winの関係を構築できるような、交渉・折衝を行うことができる。
(2)プロジェクト活動の進行、成果を最適化するコミュニケーション行動を行うことができる。
(3)障害・クレーム発生時に迅速に対応するとともに、調整、交渉、折衝を的確に行い、次につながる対処を行うことができる。

【到達目標】

(1)交渉、折衝の原理原則を理解する。
(2) 交渉、折衝の原理原則に従った利害関係者との合意形成方法を習得する。
特に、要求仕様のヒアリングについて、留意点、ポイントを理解し、仕様変更を最小化する利害関係者とのコミュニケーション行動を理解する。
(3)障害・クレーム時に対処するコミュニケーション行動を理解する。

■対象　プロジェクトリーダー／プロジェクトマネージャー／ソリューション営業担当者

■講師
足立　英治氏
株式会社　フォース・トランキル 代表

■標準日程
2～3日間
*研修対象者、研修目的により、ご相談させていただきます。

■主な講義内容

内容	成果
1. 交渉・折衝の原理・原則	基礎知識の理解と習得
日常行動の振り返り／交渉・折衝のタイプ	日常行動の振り返り
2. 合意形成とコミュニケーション行動	合意形成のためのコミュニケーション行動を振り返り改善行動を明確にする
合意形成／ヒアリングとインタビュー／聴く行動／話す行動	
3. 事例検討	職場実践場面での行動振り返り改善行動を明確にする
要件定義・クレームと交渉・折衝	
4. まとめと改善行動発表	研修成果振り返り

JUASオーダーメイド研修
マーケティング入門

「顧客の視点でサービスを捉える」、「売れ続ける仕組みを作っていく」ための、実践的なマーケティングの基礎を学びます。

■対象

ユーザー企業 情報システム部門　ユーザー企業 業務部門IT推進者　情報グループ会社　SIベンダー

マーケティングの全体観を理解したい方
これからマーケティングを学ぼうとする方

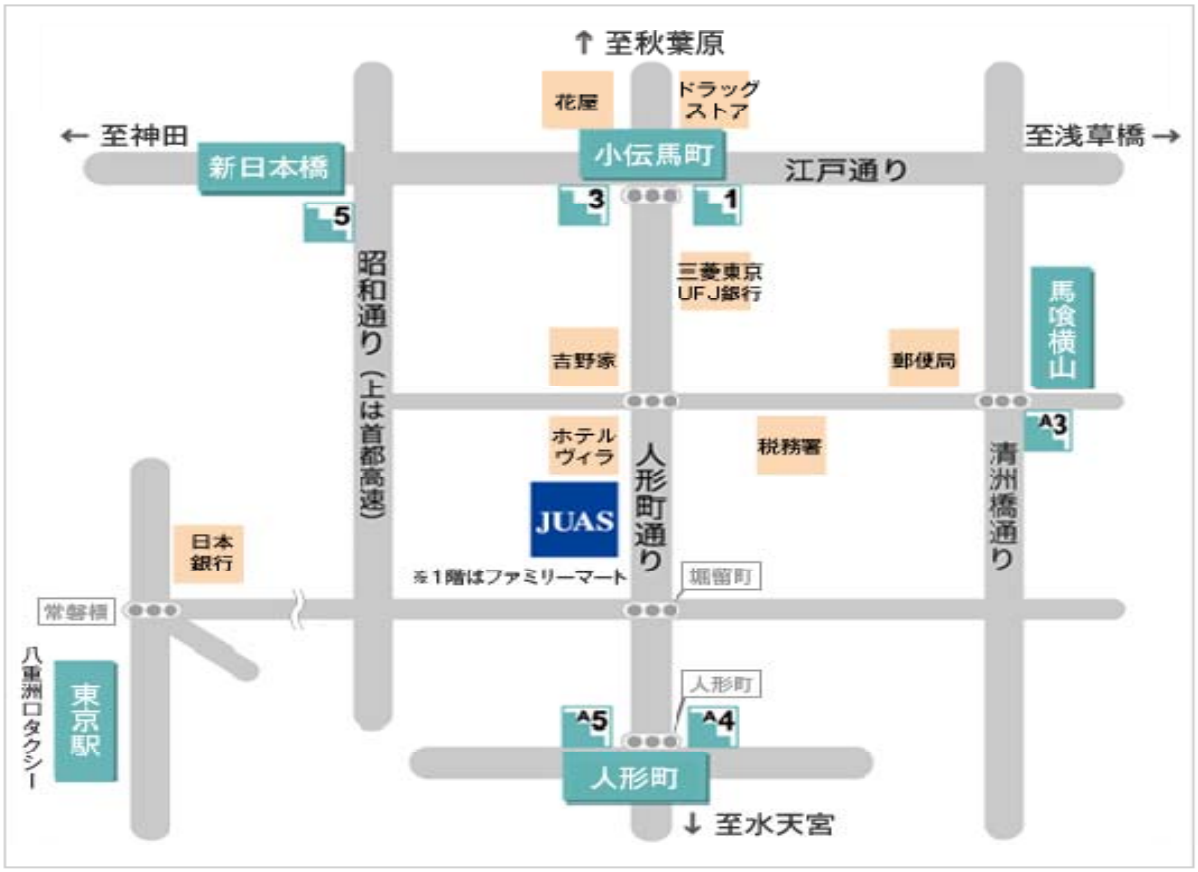
■主な講義内容

1.マーケティングの基本的な視点
Product-inとMarket-in／プッシュとプル／3C (Customer, Company, Competitor)
2.二種類のマーケティング活動
「商品マーケティング」と「事業所経営マーケティング」
3.マーケティングの三つの基本要素
自社の取扱商品を知ること／その商品がどのようなベネフィットを提供しているか／顧客は誰か
4.マーケティングのフレームワーク
経営サイクル(ASPEC: 分析-方針-計画-実行-管理)の中のマーケティング活動
5.顧客を知ること
消費者の視点で物事を見る／消費者の特性(属性)を知ること／消費者の購買行動を把握する
6.顧客の分析
消費者を分類する:主成分分析／買う人と買わない人の行動特性を知る:判別分析
7.売り続ける仕組みは、企業総体で取り組む
8.ブランドの構造
ブランドの主要構成要素／ブランド状態／ブランド価値モデルの関係者／BtoCのブランド構造

■講師
尾田　友志 氏
マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表

■標準日程
1日間～2日間
*研修対象者、研修目的により、ご相談させていただきます。

JUAS Japan Users Association of Information Systems
社団法人 日本情報システム・ユーザー協会



社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）
〒103－0012 東京都中央区日本橋堀留町1-10-11 井門堀留ビル4階（研修室 3階、5階）
TEL：03-3249-410（代表・会員）、4102（セミナー）、4103（セキュリティセンター）

●事務所近辺の特徴：

1. 事務所の1階はファミリーマートです
2. 隣のビジネスホテル・ヴィラは特徴のあるレンガ色です
3. 事務所の前（人形町通り）は、南から北への5車線の一方通行です

●事務所への行き方：

1. **メトロ日比谷線「小伝馬町」・・・徒歩4分**
   小伝馬町交差点から、人形町通り（5車線の一方通行）を車の流れとは逆方向に進みます。
2. **都営新宿線「馬喰横山」・・・徒歩8分**
   A3の出口を出て、前面の5車線の一方通行の信号を渡ります。郵便局の前の裏通りの一方通行を、車の流れに沿って進みます。
3. **都営浅草線「人形町」・・・徒歩5分**
   A5の出口を左方向に出て、交差点に戻り、交差する5車線の一方通行を車の流れに沿って進みます。
4. **JR総武快速「新日本橋」・・・徒歩10分**
   5番出口（左の方）を出て、昭和通りを渡り、江戸通りに沿って、小伝馬町交差点へ出ます。交差する5車線の一方通行を車の流れとは逆方向に進みます。
5. **東京駅八重洲口からタクシー（800円程度）**
   常盤橋交差点を右折、日銀の手前の一方通行を通り、堀留（ほりどめ）町交差点で下車します。

JUAS 教育研修セミナー

≪経営視点≫

・経営戦略　・IFRS　・IT投資対効果
・BSC　・人材育成　・リスク管理

≪情報システム構築・活用・運用≫

・IT関連法規　・プロマネ　・品質管理
・企画力　・オフショア　・要求仕様

≪ヒューマンスキル≫

・ヒアリング　・ファシリテーション
・メンタルヘルス　・リーダーシップ
・ロジカルシンキング

自社の要望にそった人材育成

オーダーセミナー

・ニーズや要望に沿った研修を提案
・1日あたり、40～50万円程度
・自社内のほか、
JUAS研修室での開催も可能！

少数の新人を情報処理技術者レベルまで！

新人セミナー

・文章作法～IT企画～プログラムまで！
・現在、準備中。2010年12月発表予定
・2010年7月20日間
・33.6万円（会員）／ 42万円（一般）

2011年度

IT経営人材育成

JUAS セミナー

講演型先駆的事例発表型演習型
異業種交流（他流試合）型・・

この他、各種報告書も販売しています。

JUASならではのラインアップ

オープンセミナー

・最新トレンドや調査結果を発信する講演型
・先駆的事例をオムニバスで発表する事例型
・知識習得と活用をその場で体得する演習型
・31,500円～　・WEBより前日まで登録可能！

知識と実践演習の他流試合

合宿型中堅セミナー

・中堅社員の異業種交流（他流試合）セミナ
・各コース、5回開催、最終日（5 回目）合宿
・一般99,750円　会員：78,750円（含宿泊費）

「2011年度オープンセミナ」
「2011年度合宿型中堅セミナ」

早期割引実施！
（2011年1月～3月末日）

次世代CIOの育成！

イノベーション経営カレッジ

・第一線のCIOを講師に招致
・9日間　63万円（2011年7月開催予定）

セミナー詳細・お問い合わせ

オープンセミナ　：　森・平山
オーダーセミナ　：　角田・五十井
イノベーション経営カレッジ（IMCJ）：佐藤
電話　03-3249-4102　（9：30-17：30）

http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/index.asp

◆　セミナの問合せ・ご相談はお気軽に　◆